

♡ こども食堂を まちの フラットフォーム に っ

# 子ども & 女性 応援プロジェクト



24H  
無料相談  
365日なんでも相談

相談件数  
**3,295** 件

生活支援  
**8,378** 人

支援物資  
**80** 万点  
**191** トン



面談同行  
生活必需品  
支援  
(フードバンク)



地域の  
「居場所」  
信州  
こども食堂

県内 **128** 力所  
**602** 回 **39,206** 人



長野県 コロナ禍において不安・困難を抱える女性に対する緊急支援事業

< 本部 事務所 >  
松本市寿北5丁目4番 28-1  
電話 0263-75-8368  
< 各地域拠点事務所 >  
長野市三本柳西 2-74 (にっこりFD.B)  
電話 080-3418-0088  
台風 19 号被災地 長野市上駒沢 356-102  
電話 090-6473-9455  
塩尻市片丘 7900 信州こども食堂 in しおじり  
電話 090-9118-5899  
上田市七瀬 2885-3 まるこ福祉会  
電話 090-5329-1653

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州

E-mail: yff52160@nifty.com http://hotline-shinshu.jimdo.com/  
団体の設立 2011 年 3 月 30 日 法人の設立 2014 年 4 月 1 日

== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==



2021年4月～2022年3月

♡ 無料相談・問い合わせ  
0120-914-994

# 目次

- 1 不安や困難を抱える女性を応援します . . . P 1
- 2 地域で支え、つながりを広げ、誰もが幸せな社会 . P2
- 3 **子ども&女性 応援プロジェクトの取り組み**
- 4 コロナ禍で～広がれ！支えあいの輪 . . . P4
- 5 トピックス・表彰授与と政策提言！今こそ！公助 . P6
- 6 コロナ禍の活動～荻原長野市長との懇談会 . . . P8
- 7 信州こども食堂応援リレー・こども食堂の作り方 . P30
- 8 メディア掲載など・関連団体一覧 . . . P37
- 9 信州こども食堂の広がり !! . . 裏表紙

2021年12月31日250名参加の「年越しこども食堂 in しまうち」



2021年10月1日～2日開催の「共食でつながるフェスタながの」



# 不安や困難を抱える女性を応援します

長野県では、深刻化するコロナ禍において不安や困難を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、こども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州と県社会福祉協議会と連携し、きめ細かい支援を提供するとともに、生活困窮により十分な生理用品を入手できない女性に対して生理用品の提供と相談の緊急相談事業を8月から取り組みました。



7月17日(土)、長野県労働金庫労使から「生理用品ナプキン2,790個」を受け取りました。信州こども食堂ネットワークへ配布！



8月11日(水)安曇野市社会福祉協議会続く、まつもと学び塾の、こども食堂で、生理用品など提供と相談を行いました。



2021年9月25日(土)、塩尻市で、子ども&女性応援では、生理用品を無料配布するとともに、女性相談や医療相談ができるスタッフが参加、受付人数は73名、医療関係含めて様々な相談を行いました。



また、長野市の信州こども食堂では、毎月第三土曜日の相談会に毎回多くの女性がおと連れです。



2021年12月31日の「年越しこども食堂 in しまうち」での、こども食堂には、多くの子どもと女性250面がおと連れ、2カ所で相談に応じているスタッフは大忙しでした。

## ♥ 誰もが安心して暮らせる社会を目指して ♪

各こども食堂への参加者と生理用品受取人数

2021年度信州こども食堂ネットワーク月別参加人数				
	子ども	大人	合計	生理用品
2021年 4月	928	827	1,755	
5月	2,007	1,162	3,179	
6月	1,379	1,139	2,518	
7月	1,768	1,479	3,247	148
8月	1,529	1,391	2,920	550
9月	1,893	1,293	3,186	214
10月	2,541	2,103	4,644	310
11月	1,977	1,487	3,464	729
12月	2,870	1,860	4,730	1,036
2022年 1月	1,635	1,065	2,700	500
2月	1,455	1,026	2,481	693
3月	2,631	1,754	4,469	1,098
総合計	22,613	16,586	39,293	5,278

# 地域で支え・認め合い、つながりを広げ、誰もが幸せな社会

**一人で悩んでいませんか？  
まずはお電話ください。**



**お電話で無料相談** あなたは一人ではありません。あなたのそばに私たちがいます。忘れてないで！

コロナ禍で不安などを抱えている女性の皆さん応援します

フリーダイヤル **0120-914-994**

**0263-75-8368**

<https://hotline-jimcofree.com/> [hotline@kki.biglobe.ne.jp](mailto:hotline@kki.biglobe.ne.jp)

相談の悩み事を確認しながら、支援方法を一緒に考えます。必要に応じて、最寄りの相談機関を紹介したり、専門家と一緒に解決方法を見出したり、自立に向けたお手伝いをします。



地域で支え・認め合い、つながりを広げ、誰もがしあわせな社会を創りましょう！

特定非営利活動法人 **NPO ホットライン信州**

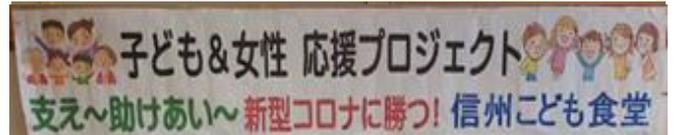
**長野県 コロナ禍において不安・困難を抱える女性に対する緊急支援事業**



長野被災地へ宅配相談。



上伊那で相談を受ける



信州子ども食堂で子どもと親の相談を受けている



塩尻市民祭で女性の相談を受けるスタッフ



6:37  
広がる信州子ども食堂の輪  
うちの子ども青木さんのおかげで大きくなれたようなもので  
子どもの世話や仕事が忙しく「子ども食堂」に来られない家庭が多い中、自らの経験を活かした「ピアサポート」の相談員数名が、直接食材を届けながら、訪問先の相談に対応しケアをしている。

2021年度 相談・面談同行・生活支援・子ども食堂支援物資延べ人数							
	相談・面談同行・生活支援			子ども食堂・居場所他			
	相談員40名	フリー☎	携帯SNS	相談ケア	県女性PG	相談合計	支援物資
2021年							
4月	31	35	6	18		90	351
5月	40	23	9	26		98	636
6月	49	15	11	33		108	921
7月	58	36	9	48		151	1206
8月	29	25	10	12	13	89	623
9月	60	39	11	36	69	215	633
10月	91	56	9	42	77	275	643
11月	122	63	12	38	83	318	653
12月	153	72	11	44	92	372	663
2022年							
1月	184	82	14	65	102	447	673
2月	215	96	8	78	118	515	683
3月	246	102	18	115	136	617	693
合計	1,278	644	128	555	690	3,295	8,378

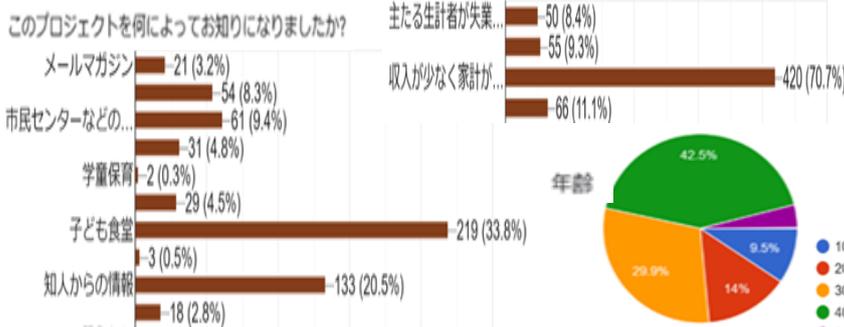


月約60世帯を訪問している相談員の木内さん。  
木内 美美さん  
喜んでくれる人がいるのだったら運んであげたい

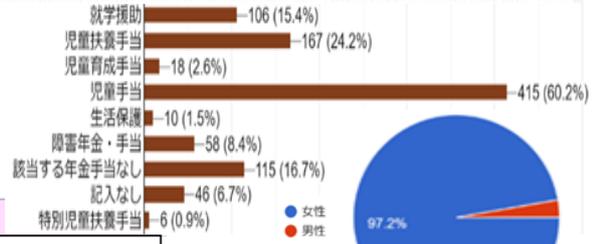
# 子ども & 女性 応援プロジェクトの取り組み

## 面談相談アンケート 690 件内容

食品を希望する理由を教えてください。(複数回答可)



ご本人またはご家族が受けて居る公的年金や手当などがありますか? (複数回答可)



信州子ども食堂 NW の 2022 年 3 月 4,469 人、  
2021 年度合計年間 39,293 人が参加しました。

## 2022年3月 信州子ども食堂ネットワーク開催内容報告一覧表

開催日	子ども食堂名	子ども	大人	合計	内容
3月中	子どもと誰でも食堂	109	138	247	宅老所おいでなし会 高橋090-5406-9764
3月中	岐阜県 地域で助けあう子ども食堂	93	124	217	地域で助けあうこ...
3月中	茅野市 コミュ・きっちん天香	692	249	941	きっちん天香026...
3月中	「飛行船」茅野市子ども食堂	55	26	81	子どもの未来をか...
3月31日	信州子ども食堂inしおじり	34	22	56	NPOホットライン
3月30日	須坂市 プラザ食堂	144	30	174	東海林 春休み
3月30日	信州子ども食堂in篠ノ井	118	69	187	NPOホットライン
3月29日	信州子ども食堂inしおじり	26	18	44	NPOホットライン
3月27日	学生応援(長野市若里7-7-2)	48	4	52	信州Gプロジェクト
3月27日	信州子ども食堂「柳町カフェ」	11	17	28	柳町介護サービス
3月26日	信州子ども食堂in千曲	38	26	64	倉科公民館 労協
3月26日	信州子ども食堂inこもろ	32	38	70	信州子ども食堂inこもろ 千野090-2540-0383
3月26日	信州子ども食堂inまつもと学び塾	52	31	83	NPOホットライン信州 (0120-914-994)
3月24日	信州子ども食堂まつもとススキ川BBQ	18	7	25	NPOホットライン信州 (0120-914-994)
3月24日	安曇野市 cocoroカフェ	115	91	206	安曇野市社会福祉協議会
3月24日	信州子ども食堂in篠ノ井	147	74	221	NPOホットライン信州 (岡田090-4460-3428)
3月23日	須坂市 プラザ食堂	147	31	178	東海林 春休み
3月23日	松本市 ゆいまーる子ども食堂	84	40	124	沖縄クラフト&カ...
3月21日	松本市 寄り添い子ども食堂	39	45	84	多世代寄り添いこ...
3月20日	信州子ども食堂inあじさい	82	41	123	労協ながのあじさ...
3月20日	信州子ども食堂古里カフェ	25	38	63	台風19号被災地事...
3月19日	信州子ども食堂inちゃんちゃんこ地藏寺	54	42	96	諏訪市Capsずわ...
3月19日	信州子ども食堂in篠ノ井	80	63	143	NPOホットライン
3月19日	信州子ども食堂	48	22	70	NPOホットライン
3月19日	寺子屋カフェ	20	17	37	担当 山岸さん
3月19日	にっこりひろば	3	47	50	にっこりひろば (元JA三本柳支店) 080-3418-0088
3月19日	子ども食堂はらへこあおむし	35	93	128	松本市中央 マスタ・セキ 0263-34-4393
3月15日	信州子ども食堂塩尻学びサポート	16	7	23	学びサポート 三浦
3月15日	松本市 ゆいまーる子ども食堂	53	47	100	沖縄クラフト&カ...
3月15日	信州子ども食堂with温泉寺	74	77	151	労協ながの「地域...
3月13日	信州子ども食堂古里カフェ遊びの広場	42	51	93	台風19号被災地事...
3月13日	みんなでごはん IN えがお 茅野市安国寺	22	24	46	茅野市安国寺
3月10日	信州子ども食堂in松本 どん八	21	57	78	NPOホットライン
3月9日	須坂市 プラザ食堂	60	9	69	東海林 3/2 3/9
3月5日	上田市 子どもレストランきらっと	22	39	61	まるこ福祉会 02...
3月5日	女性応援 (まるこ福祉会)	6	30	36	信州Gプロジェクト
3月5日	女性応援 (上田市母子寮)	5	15	20	信州Gプロジェクト



多くの皆さんから「とても助かりました…」  
との感謝の言葉をたくさんいただきました。



各高校でズームによる「子ども食堂  
と生理用品配布など」講演を行った。



松本市島立公民館にて、支援  
物資の配布と相談会を行った。



2021年度の支援物資は、年間 802,639 数の 191 トンが集荷～配布されました。

## NPOホットライン信州支援物資取扱量 2021年4月～2022年3月

	NPOホットライン信州		松本市 本部扱い		JAグリーン長野・企業担当塚田		さんぽん やなぎ		Gプロジェクト		古里カフェ		19号被災地 もんも食堂	
	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ
2021.4月	34,689	8,304	20,503	3,590	8,534	1,253	4,185	1,124	100	2,000	387	51	980	286
5月	108,093	27,178	99,363	24,881	5,480	545	1,440	382	160	260	420	150	1,230	960
6月	9,996	7,213	819	1,650	5,600	1,550	864	2,982	13	33	1,598	133	1,102	865
7月	48,170	17,416	17,153	9,364	21,580	6,083	1,690	509	600	600	4,962	273	2,185	587
8月	39,507	10,314	16,574	2,745	13,090	3,695	2,110	1,674	1,373	1,480	5,040	31	1,320	689
9月	128,046	33,065	112,119	26,786	9,660	3,645	1,470	1,254	2,200	300	1,144	202	1,453	878
10月	102,745	8,368	88,246	3,610	10,730	2,955	1,115	696	1,000	660	454	82	1,200	365
11月	65,330	23,358	46,489	17,686	13,260	3,993	1,600	538	495	230	1,086	224	2,400	687
12月	77,872	24,748	53,994	15,105	18,120	4,049	2,730	4,466	1,610	810	548	50	870	268
2022.1月	32,058	4,955	20,460	2,298	5,220	1,378	2,423	466	1,088	160	1,744	255	1,123	398
2月	46,617	8,055	38,596	5,310	4,895	1,795	640	366	475	180	1,036	54	975	350
3月	109,516	18,464	89,387	10,395	6,829	1,859	6,880	1,540	4,439	4,328	1,085	47	896	295
合計	802,639	191,438	603,703	123,420	122,998	32,800	27,147	15,997	13,553	11,041	19,504	1,552	15,734	6,628

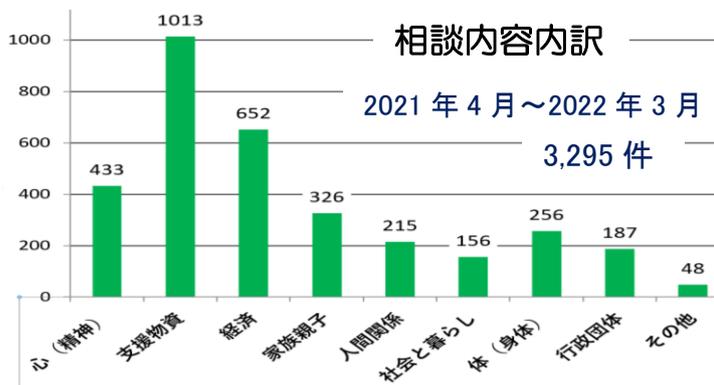
# コロナ禍で～広がれ！支えあいの輪 24H 相談ケア生活困難者支援・フードバンク～

## 感染拡大に値上げ…「母子家庭悩み深く！」

蔓延する新型コロナ感染拡大は歯止めがかからず、私達の 24 時間 365 日の無料相談や要支援者が例年の 3 倍！コロナの感染拡大に物価高騰で家計を直撃しており「精神的に追い詰められ、『死にたい』と言う女性が多い」生活苦限界にあり、弱い立場の人は、コロナが収束しても改善されるか解らない不安を抱え、日々の生活に追われています。



特に、ひとり親家庭はパート労働が多く「コロナ禍で収入が激減し、物価高で毎月の出費は増大し、生活は苦しく、体調崩している。何とかしてほしい…」と切実な訴えと働き盛りの人から、「就労できない」「社会に溶け込めず孤立している」「心の病」「先の見えない不安や絶望感に死ぬしかない…」等に対応。命を支える支援活動がつつけています。



## 生活困窮は深刻化個々に対応した支援の重要性

コロナ禍の影響による離職や離婚、生き辛さを抱えた親子の相談が増え、子どもにも心理的貧困という負の連鎖がみられます。複雑多様な状況では、画一的なサービスやケアではなく、個に応じた柔軟な対応による解決と心の貧困を予防できるアプローチの両面が必要です。

人・物・食・心を繋ぐ地域を巻き込んだSDGsの取り組みを構築しつつ、安心して安全な暮らしやすい土壌の構築が必須です。

貧困の連鎖によって人間の尊厳を破壊され、社会や他者への信頼を築けず、社会的孤立に陥っている現状の中で、本事業が、こうした生活困難者とな

がることによって、彼らの中に「自分は一人でない、生きていていい、価値ある人間だ」という自己肯定感が生まれ、社会活動への参加につながる。

## 面談・食糧・ケアなどの生活支援 8,378 人年代別件数



このケーススタディを重ねることにより、より充実した質の高い内容の提供が可能になり、利用者のニーズを的確に把握し応える 1 人他役の「こども食堂がまちのプラットフォーム」としての位置づけが定着し、人材や協力者が担保され、それぞれの地域における福祉の総合拠点として持続性が保たれます。



亡きスタッフ鳥居さんを囲んで「読売福祉文化賞」を祝う

## 人と人がつながる場が「こども食堂」

そのためには拠点が身近にあることが不可欠であり、県内に 126 カ所ある信州こども食堂ネットワーク拠点数を 370 ある小学校区に配置することで、子どもや家族、生活弱者を支えられる仕組みを作る、それこそが！私たちのミッションであります。



コロナ禍の 3 密を避けた公園を活用した「青空こども食堂」

信州こども食堂ネットワークでの報告があった 1 年間の 602 回は、子ども 22,613 人を含む 39,206 人参加。

# 「生理の貧困」問題

## 先細る自治体の支援

新型コロナウイルスの影響による経済情勢の悪化で生理用品を購入できない女性の「生理の貧困」が社会問題化し、県内の自治体でも生理用品を配布する動きが広がった。だが、女性が行政に支援を求めやすい仕組みは整わないまま。二〇二二年度以降は支援を見送る自治体もある。一過性の問題とされかねず、支援団体は「行政による長期的な支援が必要だ」と訴える。

(城石愛麻)

### 相談しにくさも 民間団体「長く継続を」

価格の安い商品を選び、配布した。三千三百パックざるを得ず、下着や洋服を汚したという声も聞いた」と明かす。

国の調査では、昨年七月下旬時点で県内の二十六市町村が生理用品を希望者に相談しにくさも、民間団体「長く継続を」

る。価格の安い商品を選び、配布した。三千三百パックざるを得ず、下着や洋服を汚したという声も聞いた」と明かす。

国の調査では、昨年七月下旬時点で県内の二十六市町村が生理用品を希望者に

た、多くの自治体は在庫がなくなった時点で支援を終了するとい、松本市や飯田市、長野市でも二二

度以降の支援継続は「未定」としている。「本当に困っている女性に届けるのが難しい」（自治体関係者）ためだ。

長野市では、無償配布を計画した生理用ナプキン約三千六百パックのうち、昨年五月以降の半年間に市の窓口で配布したのは二百四十九パックにとどまる。求



今月中旬、長野市で開かれた子ども食堂。NPO法人ホットライン信州（松本市）が手作りのピザや菓子

を詰めた袋を親子連れに配っていた。別室にいたのはスタッフの一人、篠原修子さん。てきぱきと生理ナプキンのパックを机に積み上げる。そこに三人の子と一緒長野市の小出祐里さん（四）が訪ねてきた。生理用品を一パックもらい、「コロナ禍で生活費の多く

を食費に回さなければならなくなった。ありがたい」とほっとした表情を見せた。

法人は昨夏、困窮する女性への生理用品の配布を県内の子ども食堂で始めた。「多い日には七十〜八十人が訪れた。必要としている人は多い」と篠原さん。大半は子ども連れの母親とい

い「自分は貧困ではない、と思っている人さえ生理用品への出費を切り詰めてい



ホットライン信州の篠原さん（右）から生理用品を受け取る小出さん（左）＝長野市で

められれば配布してきたが「市の窓口では相談しにくいのか希望者は少ない。困窮者がどれだけのいるのか、つかみきれない（担当者）。

一方、昨年五月以降の八カ月間で二百六十八パックを配布した松本市が、受け取った女性にアンケートしたところ、旅行者も交じっていたことが分かった。担当者は「これでは困窮者への支援かどうかわからない」と話した。

ホットライン信州代表の青木正照さん（三）は「生理用品の配布を通して困窮する状況を相談してもらうこともできる。コロナ後も長く配布支援を続ける必要があり、行政の力も欠かせない」と強調する。

長野県会議員 3 名と県民文化部の課長・係長らが、子どもと女性への視察をし、県政反映に向けた意見交換をしました。



NPO ホットライン信州の女性スタッフらは、上田市で、470 名参加の子ども&女性応援ブースでの面談で、生理用品などの物資を手「これで安心して良い年が迎えられる…」との喜びと感謝の言葉をいただきました

# 限界だ! 「今こそ公助を」

まん延するコロナ禍、感染拡大歯止めがかからない現状に、社会的に弱い立場に置かれた人が、コロナ禍で更に追いやられている。

相談や要支援者は増え続け、今もなお、困窮は増え続けている!すでに、「自助」と「公助」では、限界に来ている。いまこそ、暮らしを支える「公助」の出番であると訴えてきた!

2021年01月30日 (土曜日) 中日新聞



阿部長野県知事と懇談(2021年1月12日)

## コロナ禍 暮らしの困窮 食で応援

松本・NPOホットライン信州 大臣表彰

子ども食堂の開設や二十四時間の無料電話相談など、生活困窮者を支援する松本市の「NPOホットライン信州」が、内閣府の「子供と家族・若者応援団表彰」を受けた。専務理事の青木正昭さん(モロラスタッフ五人が)二十九日、市役所を訪れ、臥雲義尚市長に喜びを報告した。

(竹内なま)

子供・若者育成支援部 の二件に次ぐ内閣府特命担当で、内閣総理大臣表彰 当大臣表彰の九件に選ばれた。



松本中央LC 来月フードドライブ開催

松本市の松本中央ライオンズクラブ(LC)は、月六日午前十一時から、家庭の余剰食品を募るフードドライブを県松本合同庁舎で開く。県内で子ども食堂を運営する同市のNPO法人「ホットライン信州」と共催。コロナ禍で生活に困窮する人が増えていると、市民に提供を呼び掛ける。



フードドライブへの参加を呼び掛ける松本中央LCのメンバーら(松本中央LC事務局で)

### 子ども食堂、電話相談 熱意満ちた活動光る

子ども食堂でも、持ち帰りや増やすなど感染対策を取りながら、生活物資の支援を続けたことなどが評価されたという。青木さんは「活動の必要性を実感した。さらに発展させ、支え合いの機運を高めていきたい」と決意を新たにしていた。ホットライン信州は松本、長野市の六カ所子ども食堂を展開するほか、家庭で余った食材を募るフードドライブなども開いている。子ども食堂では飲食店から無償で提供してもらった弁当を家庭に配ることもあり、青木さんは「コロナ禍で飲食店は経営が厳しく、無償提供は心苦しい。市が店から買い取るといった支援はできないか」とも話した。臥雲市長は「二つの団体の活動が大きな輪になるよう、行政がつなげる役割を担いたい」と話した。

臥雲市長に表彰を報告する青木さん(右から2番目)ら(松本市役所で)

### 子供育成で内閣府表彰

ホットライン信州市に報告

生活困窮者の支援に取組むNPO法人ホットライン信州(松本市)の青木正昭専務理事ら5人が29日、松本市役所を訪れた。本年度の内閣府「子供と家族・若者応援団表彰」を受けたことを臥雲義尚市長に報告した。居場所や食事を提供する「子ども食堂」の運営状況と意義も説明した。子供・若者育成支援部門で内閣府特命担当大臣表彰を受けた同法

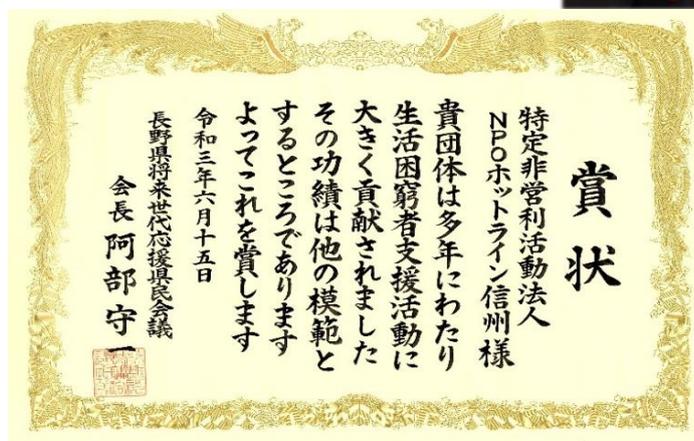


臥雲市長(右)に受賞を報告する青木専務理事(右から2人目)

# コロナ禍で「子どもと親」を支える仕組みが大事

## 長野県将来世代応援県民会議会長阿部守一(県知事)より表彰状授与

2021年6月15日、私共当法人は、長年にわたる青少年の健全育成活動及び子ども・子育ての「親子を支える」事業の功績に対し高く評価され、長野県将来世代応援県民会議総会において表彰を受けました。貴県民会議は、長野県の未来を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな社会性と優れた創造性を培い、心豊かにたくましく成長することを願って、昭和45年に「長野県青少年育成県民会議」が設立され、以降、県民総ぐるみで展開してきました「青少年育成県民運動」は、今年度、50年の大きな節目を迎えました。



▲表彰状を手に、信州子ども食堂のスタッフ

▲県民会議会長 阿部守一県知事からの表彰状

## 令和2年度「塩尻市豊かな、心を育む市民の集い」

8月5日(木)、令和2年度塩尻市社会福祉協議会の第3回福祉サポーター養成講座が、コロナ禍で感染防止のため、サポーター約40名が、コロナ禍でも行う「子ども食堂の必要性」について、信州子ども食堂ネットワーク青木事務局長が、「コロナ禍で子どもと親を支える仕組みを作ることが必要」地域の居場所、見守りの担い手として活動する現場の対応を求めました。



参加者の皆さんは、地域の「見守り力」の向上を目指して、信州子ども食堂夏休み「子ども&女性 応援プロジェクト」での食料や生活物資(生理用品)などの相談や配布などを行っていただけよう要請しました。

# 荻原長野市長との懇談会 福祉拠点「こども食堂」の拡充を

2022年2月 長野市 信州こども食堂ネットワーク長野市長懇談会

2月17日（木）、長野市の居場所づくりに向けて荻原市長との懇談会を開催しました😊。

長野市からは荻原長野市長をはじめ、こども未来部長、教育委員会次長。NPO ホットライン信州の村上理事長含む 8名、こども食堂にかかわる長野市議など総勢 20人が出席しました。

※コロナ感染対策で人数制限でした。



総合福祉拠点ともなる子どもの居場所（信州こども食堂ネットワーク）の活動が小学校区ごとに広がることを願い、行政や企業、市民の役割、連携のために必要なものは何かについて意見交換をしました。



村上理事長は、「こども食堂が小学校区に実現できる方法を一緒に考えたい」と発言。荻原市長から「子どもだけでなくみんなの居場所の必要性を感じており、できる限りのことをやりたい」と心強い言葉をいただきました😊。



【こども食堂側からの主な発言と、⇒長野市からの主なコメント】

- こども食堂は SDGs の推進、貧困問題や食糧問題の解決にもつながる。  
⇒長野市では「子どもの貧困対策計画」策定のためのアンケートを実施。まだ集計分析途中だが、おおよそ 10%が可処分所得が 250 万円以下で、生活が厳しいとみられる。  
子どもの貧困は顕在化しにくく、みなさんの意見も参考に、これから計画を立てていく。
- 長野市内には 30 を超えるこども食堂の活動があるが、まだ十分ではない。市内 54 の小学校区すべてにこども食堂を目指したい。児童館など今ある施設、低利用や廃止した公共施設の活用で、行政との連携も期待する。  
⇒三本柳のにっこり広場は、運営する方と学校の信頼関係ができていて、学校でも非常にありがたく感じている。すべての小学校に放課後こどもプラン事業の施設がある。みんなで使える財産として、活用したい。  
(2面へ続く)



続き【こども食堂側からの主な発言と、⇒長野市からの主なコメント】

- 支援が必要な人に届いているか、市が持つ情報で広報の支援を。  
⇒そのジレンマを理解する。
- 企業からの大量の食材、生鮮品の保管には冷蔵、冷凍庫も含めた保管場所、輸送、機材が鍵になる。
- こども食堂の紙芝居の活用を。  
⇒朝の読書の時間、PTA や地域のボランティアの読み聞かせに活用したい。
- 公益性を鑑み、施設使用料や固定資産税等の減免も検討いただきたい。  
⇒公益的事業の位置づけで、対応したい。
- 運営継続にあたる経費に対し、継続的な支援ができないか。  
⇒令和4年度からこどもの拠点整備を進めていく予定。常設など一定の条件を満たすこども食堂に対する支援を考えている。また、クラウドファンディングなどの先進事例があれば参考にしたい。



信濃毎日新聞 2022年2月26日

**長野の子ども食堂「全小学校区に必要」市と懇談会 NPO主張**

長野市内の子ども食堂の活動を巡り、NPO法人ホットライン信州(松本市)と長野市との懇談会が、市役所であった。同法人側の参加者は、長野市内54小学校区ごとに子ども食堂がある状態が望ましいと主張。会場や食材の確保などで市の支援を求める声も出た。

同法人は県内約120カ所の子ども食堂を支援する「信州子ども食堂ネットワーク」(松本市)を運営。このうち長野市内は約30カ所という。懇談会には14人が出席。同

こども食堂の拡充に向け、会場や食材の確保などの支援を求めた。(ホットライン信州 撮影)

法人の村上寛理事長は、生活に困っている家庭への支援や食育、学びの場などとして各地で子ども食堂が開かれているとし、子どもたちにとって「近くに何かある」という形を目指したいと説明した。

出席者からは、会場として学校の空き教室や児童センターを活用する提案や、寄贈された食材を保管するコンテナの運営への支援を求める意見が出た。

市教委の勝野学教育次長は、子どもの減少に伴い空き教室が出ていくものの、それぞれ相談室などとして活用しており、子ども食堂での利用は「相談しながらということになると思う」とした。荻原

意見を聞き、抱負を語る荻原長野市長 ▼



荻原市長は「今は子供だけではなく、どの世代でも孤立が問題になっており、こども食堂がみんなの居場所になる必要がある。市として何ができるのか考えてい」と述べた。

長野市民新聞 2022年(令和4年)2月22日(火)【市政】 2

## こども食堂で懇談

NPOと市長 要望や提案も

県内でこども食堂を運営する「NPO法人ホットライン信州」の村上寛理事長ら8人は17日、こども食堂を含めた子供の居場所づくりで長野市と協力していくため、市役所で荻原健司市長と初めて意見交換した。以前からこども食堂のボランティアをしている荻原市長に、懇談を持ち掛け

県内でこども食堂を運営する「NPO法人ホットライン信州」の村上寛理事長ら8人は17日、こども食堂を含めた子供の居場所づくりで長野市と協力していくため、市役所で荻原健司市長と初めて意見交換した。以前からこども食堂のボランティアをしている荻原市長に、懇談を持ち掛け

市役所では必要に応じて、少額でも補助金を出してほしい」との要望もあった。

村上理事長は「長野市内の全54小学校区に1カ所ずつこども食堂ができればいい。実現する方法を一緒に考えてほしい」と発言。他の出席者からは「各小学校区にある児童館や児童センターを、児童が使わない市には必要なのに情報提供などをしてほしい」と求めた。

村上理事長は「個人情報保護法があってボランティアでは必要ない人に支援を届けにくい。市には必要なのに情報提供などをしてほしい」と求めた。

案した。「福祉団体がこども食堂を継続運営できるように、少額でも補助金を出してほしい」との要望もあった。

村上理事長は「長野市内の全54小学校区に1カ所ずつこども食堂ができればいい。実現する方法を一緒に考えてほしい」と発言。他の出席者からは「各小学校区にある児童館や児童センターを、児童が使わない市には必要なのに情報提供などをしてほしい」と求めた。

意見を述べる村上理事長(左から3人目)

# 梅雨明け空の下 屋外で夏まつり

長野市 信州こども食堂



7月17日(土)、長野市の「信州こども食堂」は、梅雨明け直後の夏の空が広がる中、市役所桜スクエアで屋外の「夏まつり♥」を開きました。子ども98名を含む



200名が参加。カルピスウォーターを凍らせて作ったかき氷に、地元企業協賛のハズレ無しの福引き大会、お菓子釣りや果物などたくさんのフードパントリー。

長野県労働金庫さんから、2790個の生理用品いただきました。更に、七夕飾りとカブト虫のプレゼントに子どもたちは大喜び!!



いつも10名以上参加の大学生ボランティアは試験前で不参加。かわりに長野商業高校の高校生ボランティア7名や荻原さんが大活躍♥してくれました😊



調理室では、いつもの調理ボランティアさんが腕をふるい、長野県水産試験場が10年かけて開発した信州サーモンを使ったおにぎり、五目いなり寿司、唐揚げ、きゅうりの浅漬け、ミニトマト、酒まんとお肉信州の美味しいお弁当ができました。



ドミノピザさんから地域支援のピザが届きました😊。Lサイズが15枚も♥子どもたちが大好きなピザをありがとうございました😊  
こども食堂の開催のために頑張ってくださいみなさま、ご協力くださった多くの企業様、ありがとうございました。

# 安曇野市社協が 初のこども食堂

安曇野市 cōcoro カフェ



8月11日(水)、安曇野市社会福祉協議会が初めて、蔓延するコロナ禍で生活に苦しむ子どもたちと家族を支援しようと、こども食堂「cocoro (こころ) カフェ」を開催しました。

NPO ホットライン信州も共催し、100食の美味しいお弁当とタオルや生理用品などを提供し、皆さんに喜ばれました。



当初はカレーを提供する予定でしたが、コロナ感染対策として中止に。楽しみにしていた子どもたちのために、NPOホットライン信州はお弁当を提供し、おいしく食べていただきました。

8月12日(木) 市民タイムス

豊科支所の宮沢さんから感謝のことは

「初めての子ども食堂に、多くの市民の皆さんの思いが一つになりました。実行委員会を立ち上げ、委員の皆さんの前向きな取り組みと、多くのボランティアの協力と市民の方からの食料等の寄付をいただくことができました。

コロナの影響で、カレーのふるまいはできませんでしたが急きょNPOホットライン信州から弁当100食が届けられました。



まず第1歩を踏み出し、今後に向けたスタートが切れたと思います。こうした活動が各地で行われ、少しでも生活困窮者が減少することを期待しております。

今後、皆様からさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」

(第3種郵便物認可)



米や野菜などが提供された子ども食堂

安曇野市社会福祉協議会豊科支所を中心に、地域ぐるみで組織する実行委員会は11日、豊科中央公園で子ども食堂「cocoro」の第1回を行った。当初はカレーと食料を提供する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して食材や物資の配布に切り替えた。開催のため、地域住民などを知らせる新聞報道で提供した米やジャガイモ、タマネギ、冷凍されたほか、県内の子ども食堂などが提供された子ども食堂

食材配布広がる笑顔の輪  
実行委豊科で子ども食堂

「最初はカレーと食料を提供する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して食材や物資の配布に切り替えた。開催のため、地域住民などを知らせる新聞報道で提供した米やジャガイモ、タマネギ、冷凍されたほか、県内の子ども食堂などが提供された子ども食堂」

# 切実な声に 弁当と物資配布

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



8月28日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」には、子ども34名を含む70名が参加しました。爆発的なコロナ感染が続く中、続けるか・中止にするか悩みましたが…、コロナ禍の影響で苦慮している子どもと家族らの支援の要望も多く、実施に踏み切りました。

3密回避でコロナ感染対策を徹底し、お弁当とドーナツ・どら焼きなど配布🍡。公園では、ドローンの学びやスイカ割り。生理用品など物資配布で女性応援も実施しました😊。



王将の餃子弁当を手に喜ぶ子どもたち



配布した物資の一部



**NBS 長野放送**

8/28(土) 19:57 配信



松本市で開かれた「信州子ども食堂」のイベントです。経済的に困窮する家庭の支援や居場所づくりを目的に NPO 法人が月2回ほど、食品の配布やイベントを行っています。コロナ禍を受けて、食事の提供は弁当のみで、イベントも屋外での密を避けたものに限られています。

信州子ども食堂ネットワーク 青木正照事務局長「こういう状況になればなんと、何とかしてほしいという声、切実な訴えが届く。何とか応えていきたい」。県内には100以上、子ども食堂の活動をするグループがありますが、感染拡大で開催を断念しているところもあるということです。



# 物資有効活用を伝え 小学校の生徒に贈呈

長野市 信州子ども食堂子どもスタッフが通う 川中島小学校



10月11日（月）、長野市の川中島小学校に支援物資を贈り、子ども食堂の取り組みを紹介し、全校生徒へ向けて、

物を大切に有効活用することなどを伝えました。

「コロナ禍でも元気に頑張って！」と願いを込めてタオルやどら焼きなどを渡しました。「大切に使います！」「どら焼き美味しかったです！」とさっそく喜びの声が届き、子どもたちの笑顔につながるリレーでした！  
子ども食堂で子どもスタッフが活動する様子を子どもたちへ紹介しました。



2021年（令和3年）10月12日 火曜日 信濃 毒

## 子ども食堂の支援物資 有効活用 松本のNPO 長野・川中島小に寄贈

県内各地の子ども食堂に物やタオルを配った。新型コロナウイルスを媒介するNPO法人ホットライン信州（松本市）は、子ども食堂が通常通りに開けず配布している人を知り、自分には何ができるかを児童に考えてほしいと話した。

児童は「どら焼きやタオルを配る青木さん（左）が質問した。ホットライン信州専務理事の青木正照さん（右）と同小PTA会長の塚田孝之さん（中）が同校を訪れ、校内放送で子ども食堂についてPRした後、児童会長の6年嶋田彩知さん（右）らに物品を手渡した。コロナ下で保護者が学校との関わりが限られていることを踏まえ、保護者が事前に書いた自分の子ども向けのメッセージをタオルに添えた。塚田さんは「今日の出来事や、家庭での親子の話題になればうれしい」と話した。

同法人は子ども向けマスクやかっぱ、傘も同校に寄贈した。鈴木亜希子教頭は「コロナ下でも工夫して社会を助けたい」と話した。



- 信州子ども食堂がめざすSDGs持続可能な3要素
- ① 物を大切に、
  - ② みんな仲良く、
  - ③ 有効活用の推進



2021年（令和3年）12月31日（金） 第3種郵便物認可

## 児童が恩返し「フードドライブ」

### 家庭で余った食材寄付

子ども食堂をサポートするNPOホットライン信州（松本市）から寄贈を受けた長野市の川中島小学校で今秋、そのお礼にと、家庭で余っている食料品などを持ち寄る「フードドライブ」が行われた。同小の子もたち約600人は12月22日、学校を訪れたNPO専務理事の青木正照さん（左）に感謝の気持ちや「学んだこと」を伝えた。

ホットライン信州は、企業の中で、大量に届いた余剰品や個人から寄せられた食料品も「無駄にできない20カ所の子どもの食堂」やタオル、どら焼きを川中島小学校に贈った。

川中島小学校の児童からのメッセージを受け取った青木正照さん（中央）＝長野市

## 子ども食堂支援NPOへ「使い道考えること大切」

同校は11月2回のフードドライブを実施。家庭から持ち寄られた缶詰など約650点がホットライン信州へ贈られた。

12月22日に同校を訪ねた青木さんに、ほぼ全員からの寄せ書きが手渡された。「使えなくなりそうなのをすぐに捨てるのではなく、ほかの使い道を考えることや使ってくれる人を探すなど無駄がないように考えることは大切だ」と思う（6年男子）。「捨てられてしまえば環境にも悪い。この機会にSDGs（持続可能な開発目標）を考えたい」（6年女子）。

つづられたメッセージに、青木さんは「一人ひとりの参加で心と心が通じ合う『応援リレー』が広がっていくことほうれしい」と話した。

訪問時には文具やマスク、生理用品などを持参。「空き教室などに置いて、子どもたちでコミュニケーションを取りながら活用してもらえれば」と期待し、学校の担当者も「頂いたものをどういするか。自分たちで考え、動くことも勉強」と話していた。

青木さんたちは31日の大みそか、「年越し」と銘打った子ども食堂を松本市の島内公民館で開く予定だ。（北沢佳生）

# 共食でつながるこども居場所作り

「共食でつながるフェスタ」企画会議 6月3日（木）・実行委員会 8月19日）開催

6月3日（木）、県庁議会棟で「共食でつながるフェスタ」企画会議を開きました。参加は、全国食支援活動協力会と長野県・長野市の関係部局、信州こども食堂ネットワーク関係者ら約30名でした。

この活動は、すべての人が食を通じて参加できる居場所づくりの推進が目的。活動団体・応援企業・地元自治体が実行委員会形式で運営し、異分野の多様な機関が力を合わせて、安定した活動が続けられる環境の構築を図ります。その取り組みとして10/1・2日「フェスタながの」開催決定。



## 全国食支援協会がネットワーク各拠点を視察

全国食支援協会が6月2日、まるこ福祉会（東信拠点）とだがしやG（中野市拠点）を、3日に長野市内のにっこり広場、長野事務所、長野地域振興局など、信州こども食堂ネットワークの各拠点を視察し、担当者との意見を交換しました。



## 「共食でつながるフェスタ」実行委員会

8月19日（木）、長野市ふれあい福祉センターで「共食でつながるフェスタ」実行委員会を開催。参加は、全国食支援活動協力会と長野県・長野市の関係部局、信州こども食堂関係者ら約30名が

出席し10月1・2日のフェスタ内容を決めた。



企業・行政・NPO・ボランティア・地域づくり団体のご担当者様

企業&共食の力で  
こども達の笑顔を守るプロジェクト

### SDGs企業 パネル・ディスカッション

10月1日(金)15:00～ **参加無料**

長野市芸術館リサイクルホール  
〒251-0292 長野市中央1-1-1

コロナにより、皆さんの身の回りの大切なものが奪われています。子どもや家族に大きな被害が及んでいます。今こそ、SDGs17項目「パートナーシップで目標を達成しよう」を形にする時です。本セミナーの目的は、企業・行政・こども食堂・こどもカフェ・サポート団体・地域づくり団体から、人と人とのつながりを強め、支え合い・助け合う社会が実現される社会を目指しています。

受付 | パネルディスカッション | 名刺交流会

14:30～15:00 | 15:00～17:00 | 17:00～18:00



2021.10.2(土)  
14:00～16:00

企業・行政・こども食堂運営者の方  
また「こども食堂」をやってみたい方  
共食でつながるフェスタながの

### こども食堂&カフェ 子どもの居場所づくりセミナー

会場 長野市ふれあい福祉センター5階

「地域全体で子どもを育てる」をコンセプトに開催！  
こども食堂のネットワークから、地域のこれから子どもたちのために、  
できることを一緒に考えましょう

受付 13:30～

第1部 全国及び長野県下のコロナ禍の子ども食堂の取り組み 14:00～15:00

長野県 NPOホットライン信州 専務理事 青木正昭氏  
全国食支援活動協力会 専務理事 平野寛治氏

長野県 信州こども食堂 代表 町田千恵子氏  
長野県 信州Gプロジェクト 代表 傳田清氏

第2部 各グループに分かれた情報交換会 15:00～16:00

長野県には  
◎こども食堂・カフェが110カ所以上もあるの？  
◎こども食堂は、必要なの？  
◎SDGs企業は、何をしているの？  
に答えます！

全国食支援活動協力会  
NPOホットライン信州  
全国の食支援活動をコーディネートし、  
信州・長野県・長野市・長野市に  
施設、運営のノウハウ・情報などを  
提供し、活動の活性化・発展を  
支援し、SDGs17項目「パートナーシップで  
目標を達成しよう」を形にする時です。  
お問い合わせ先：NPOホットライン信州  
〒251-0292 長野市中央1-1-1

イベント概要 参加者募集中  
日時：2021年10月1日(金) 15時～17時  
会場：長野市芸術館リサイクルホール  
定員：予約制(お申し込み順で上限あり)・入場無料  
申込・問合せ：信州こども食堂ネットワーク  
(特定非営利活動法人NPOホットライン信州)  
主催：共食でつながるフェスタながの 実行委員会  
お問い合わせ先：NPOホットライン信州  
〒251-0292 長野市中央1-1-1

お申込みはコチラ  
お申し込みは、お振込みまたはクレジットカードから  
お振込みください。お振込み先は下記です。  
0120-914-994  
https://298web.me/ks/

QRコード

10/1日は、企業・団体向けの  
パネルディスカッションを行い、  
その上で、10/2日は、各こども  
食堂関係者による、こども食  
堂の運営についての情報交換と  
交流を行う。



イベント概要 参加者募集中  
日時：2021年10月2日(土) 14時～16時  
会場：長野市ふれあい福祉センター5階  
条件：予約制(お申し込み順で上限あり)・入場無料  
申込・問合せ：信州こども食堂ネットワーク  
(特定非営利活動法人NPOホットライン信州)  
主催：共食でつながるフェスタながの 実行委員会  
お問い合わせ先：NPOホットライン信州  
〒251-0292 長野市中央1-1-1

お申込みはコチラ  
お申し込みは、お振込みまたはクレジットカードから  
お振込みください。お振込み先は下記です。  
0120-914-994  
https://298web.me/ks/

QRコード

寄贈品の受取⇒ロジ・ハブ拠点⇒  
各こども食堂⇒活用されるまでの  
物流の流れのシステム化の研修▶

# 女性応援～相談～宅配へ

## 信州子ども食堂の女性応援相談所

長野市信州子ども食堂 古里カフェ ゆる笑 happy 子ども食堂相談



10月17日(日)、古里カフェの子ども食堂参加者は子ども19名含む52名でした。メニューは焼そばパン・マスガツオの香味フライ・ポテトサラダ・柿・ぶどう。スタッフ6人でパンランチを作りました。また、来れなかった家族には、宅配お弁当を届け、子どもたちに喜ばれました。



「子ども&女性応援プロジェクト」では、親子の相談者の話を聞いて対応しています。帰りには、生理用品や生活物資を無料配布し、継続応援しております。受付人数は、女性13名子ども6名含む15名でした。相談できなかった方は日程調整中です。

### 宅配で家族を応援しています

子ども食堂などに来られない家庭には、直接食材や生活用品を定期的に無料でお届けをしています。



困っている方がいれば・・・どなたでもご利用できます。今回は数件でした。次回お気軽にご利用ください。

### 訪れた方の感想

生理用品を申請している方たちからの声です。「生活費がかかるので自分に掛けるお金がなく1番安価な生理用品を使って、かぶれたり、不快な思いをして来ましたがおかげさまで気持ちの良い生理日を過ごすことができました。続けて頂けるのも本当にありがとうございます。お友達にもぜひ教えてあげたいです。」喜んで頂け嬉しいです😊

また、コロナで失業、就職先もない。もっと生理について理解が必要です。恥ずかしくない、気軽な応援して欲しい等々ご意見を戴きました。

信州子ども食堂ネットワーク事務局

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州  
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください

# 共食でつながる フェスタながの



長野市 SDGsに取り組む 信州子ども食堂ネットワーク

10月1日（金）・2日（土）に長野市内で開いた「共食でつながるフェスタながの」。

1日は、長野市芸術館を会場に「SDGs パネル・ディスカッション」。子どもの支援に関心のある企業や県内の関係部局、信州子ども食堂ネットワーク関係者ら 52 名に加えて、ZOOM で全国へ配信され、約 100 名が参加しました。



## 子ども食堂の紙芝居

SDGs をテーマに「ボクらの子ども食堂」と題した紙芝居が披露されました。子どもの目線で、子ども食堂&カフェが内包する多様性が描かれていました。



第1部では、長野県内の子ども食堂の広がりやコロナ禍の取組み、また長野県内における企業との連携



を通じ子ども食堂を支援する意義などについて各登壇者からご報告いただきました。

## できることから、子ども達のために支援の一步を

第2部のパネル・ディスカッションでは、ガイドリンクコ(株)の自販機設置によるネットワークの財政支援や、(株)ジン・コーポレーション(海鮮どん八)のお菓子寄贈と飲食店の会場を提供した取り組み、松本中央ライオンズクラブによるフードドライブを通じた支援の事例など具体的にできることを示して、子どもたちのために支援の一步を踏み出そうとする企業を後押しする機会になりました。



受付ホールでは、子ども食堂のチラシや、提供された食材を一つも無駄にしないメニューが紹介されました。



フェスタの2日目、長野市のふれあい福祉センターには、こども食堂に関心のある方や、これからはじめたいと考えている方、こども食堂への支援を模索している企業の方などを含め、約80名が集まりました。



### こども食堂を県内370小学校区へ

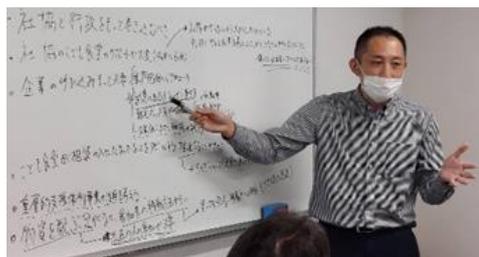
信州こども食堂ネットワークでは、全国から届く食料を活動団体へ公平に分配する仕組みを多くの団体等と連携し推進しています。また、安心・安全に活動する環境整備のために、衛生や食料管理について記載されている全国食支援活動協力会発行の「あんしん手帖」を通じた啓発促進、保険加入の呼びかけを行いました。

コロナ禍で生活苦や不安を抱える世帯が「食」をきっかけにつながり、相談援助を行う、まさに『地域のプラットフォーム』形成がはじまっていることを発信し、一つの取り組みが子ども達の未来をつくること、つながるためには子ども自らが徒歩圏内で通える小学校区 370ヶ所に居場所が必要であることを訴えました。



### こども食堂を運営するみなさんとの交流

後半のグループに分かれた情報交換会では、こども食堂を継続させるための運営、子ども達から高齢者まで地域に根ざした活動となるための広報、会場確保や食材確保の課題など活発な話し合いが行われました。



すべての人が食を通じて参加できる居場所づくりの推進・安定した活動が続けられる環境の構築を目的に開いたフェスタ。活動団体・応援企業・地元自治体が実行委員会形式で運営しました。異分野の多様な機関が力を合わせ、休眠預金事業を活用し、県・長野市の関係部局、信州こども食堂ネットワーク加盟の各こども食堂や信州こどもカフェ、社協、食支援協の今給黎さんの話など大きな成果を上げることができました。

参加者の皆さんには、活動で使うための女性支援用物資や京都から届いた食材、地元野菜を配りました。多くの方々の協力のもと、2日間を無事に開催することができたことに感謝です。1人でも多くの子ども達に寄り添う活動に資するよう、引き続き進んで参ります。ありがとうございました。



# 楽しくおいしい こどもの居場所

上田市 こどもレストラン“きらっと” & こども居場所セミナー



12月4日(土)、上田市の(社福)まるこ福祉会で開いた第40回こどもレストラン“きらっと”には、子ども51人を含む122人が参加しました。体験メニューは、世界でひとつの手作りデコレーションケーキ。

続く、こども居場所セミナー(地域への志ある方、約60名)と盛り沢山の1日でした。



楽しくケーキ作りを体験しました



Xmasメニューは、ビーフシチューに手作りロールパン、野菜サラダ、リンゴのコンポート、いちご、ぶどう、ヨーグルト、牛乳に、手作りケーキ。立科シンフォニーによる「人形劇」、「ブラックシアター」、「ピアノ演奏」。

そして全員にポケモンのクリスマスツリーとキノコのお土産つきです!



人形劇「腹ペコあおむし」



「おいしいよ」と姉妹でピース

昼食後は「こどもの居場所づくりセミナー」が開催されました。

高校生が運営する「おけまる食堂」の活動報告や、信州こども食堂ネットワークから「こども食堂の必要性について」を聞き、セミナー後に各グループに分かれグループワーク(つながり)を行いました。



「まるこ福祉会」柳澤理事長より地域共生の心



「信州こども食堂ネットワーク」こども食堂の必要性について



土屋陽一上田市長より激励をいただきました



高校生が運営する「おけまる食堂」の活動報告



今回も支援者の皆様のご協力により、楽しく子ども食堂とこどもの居場所づくりセミナーを開催できました。本当にありがとうございます。

株式会社柳原製作所 柳原幸生様、NPO法人土と人の健康づくり隊 伊藤勝彦様、農業生産法人株式会社 信州市田酪農 富永渡様、有限会社 信州ファーム荻原 荻原昌真様、中藤幸雄様、NPOホットライン信州。



セミナー後に各グループに分かれグループワーク(つながり)

# 地域の居場所づくり くりに意見交換

## 信州子ども食堂ネットワーク意見交換会

2021年10月～12月 10,041人			
信州子ども食堂参加人数			
	子ども	大人	合計
10月	2,091	1,831	3,922
11月	1,591	1,397	2,988
12月	1,803	1,328	3,131
計	5,485	4,556	10,041

2022年度予想

40,000人超

1月25日(火)、すべての人が食を得られる環境を整備する「長野県における、子ども達の居場所づくり支援に向けた説明会・意見交換会」がオンラインで開催されました。

食を通じた地域の居場所づくり活動が安定的かつ持続可能なかたちで広がることをめざしてNPOホットライン信州が主催し、一般社団法人全国食支援活動協力会が共催して、信州子ども食堂ネットワークの行政・各種団体関係者との意見をもとめました。

### NPOホットライン信州より取組の成果報告

企業等からの大量寄贈を受け止められるインフラ整備が進んできている。この活動をより豊かに、持続可能なものにするためには総合福祉拠点、各子ども食堂をプラットフォームにしていく必要がある。



24H無料相談  
24時間365日の相談対応

相談件数  
**2,298件**

面談同行  
生活必需品支援(フードバンク)

生活支援  
**3,239人**

支援物資  
**118トン**

地域の「居場所」づくり  
信州子ども食堂

県内120カ所  
3,000回実施  
26,000人参加

2020年12月～2021年11月

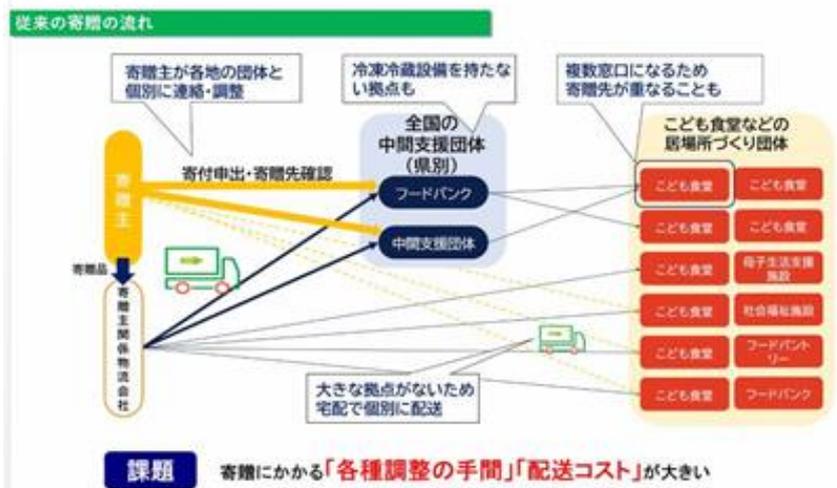
- 2019年1月～12月 16万点・53ト
- 2020年1月～12月 51万点・58ト
- 2020年12月～21年11月 58万点・118ト
- 2021年10月～12月 3か月 23万点・73ト
- 2022年度予想 100万点・290ト

2021年10月～12月 10,041人			
信州子ども食堂参加人数			
	子ども	大人	合計
10月	2,091	1,831	3,922
11月	1,591	1,397	2,988
12月	1,803	1,328	3,131
計	5,485	4,556	10,041

2022年度予想 40,000人超

説明と意見交換は、ZOOMを使ったオンラインで行われ、長野県次世代サポート課、人権・男女共同参画課、長野県社協、安曇野市社協、まるこ福祉会ほか、信州子ども食堂ネットワーク関係者など24名が参加しました。

近況報告では、コロナ禍での苦勞や物流の状況など各子ども食堂の状況をききました。また、支援活動での気づきでは、「子ども食堂に出て来られない、知られたくないという思いをもった方々が厳しい状況に置かれている」、「障がい者支援や地域の包括センターなど他分野の支援団体から食材がなくて物資提供の相談を受けることがある」といった話がありました。



# 物資の保管等と 運営体制が課題

## 信州子ども食堂ネットワーク評価委員会

1月25日(火)、「長野県における、子ども達の居場所づくり支援に向けた説明会・意見交換会」で出された意見などをもとに、これまでの取組と現状、課題を考える『共食』と『食育』でつなぐ子ども居場所物流整備事業」における評価委員会を開催しました。

### NPO ホットライン信州より現状報告

増える寄贈物資の保管機能については、新たに2カ所の長野市は、むすびやの拠点の整備をしている。塩尻は、常設の倉庫兼居場所を拠点として浅田スタッフが事務所に常駐しながら、活動を計画している。物流拠点も含めて塩尻と長野で場所が整備されれば、物量の増えた分は確保できるが、冷凍食品の取り扱いが課題。長野には冷凍庫があるが、中信・南信には業務用の冷凍庫しかなく、需要と供給が足りていないので早急の整備が必要。



地域	住所	担当・連絡先	生鮮食品受入
飯山	飯山市照里1170-5	傳田 清 080-3541-7377	
中野	中野市西条1089 だがしや6	傳田 清 080-3541-7377	
長野	長野市若星7-7-2 オフィスリンク	小林尚貴 090-7834-1228	受入可 大型冷蔵冷凍庫あり
東上	信田 上田市長瀬2885-3 まるご福祉会	小室邦夫 090-5329-1653	受入可 大型冷蔵冷凍庫あり
中松	信本 松本市寿北5-4-28-1 (大型 松本市寿北5-1-7)	青木正照 0263-75-8368	受入可 業務用冷蔵冷凍庫あり
伊那	飯田 南箕輪村407-1 まりんべんとう伊那	小林 治 090-1868-3413	
岡谷	諏訪 岡谷市長池小萩2-10-6- IF 学び舎 楽人	曾根原裕美 090-4913-5598	

### 信州子ども食堂ネットワーク 事業

#### 1. 東北信 地域

- 1-1 北信地域 ① 長野地区
- ② 中野地区
- ③ 飯山地区
- ④ 須坂地区

#### 2. 中南信 地域

- 2-1 中信地域
- 2-2 南信地域

#### 1-2 東信地域

評価委員 7名			
評価担当分野	氏名	役職	
内部	事前評価計画	原山政幸	信州子ども食堂ネットワーク副代表・企業組合 労協ながの (労働者協同組合ながの) 専務理事
	自己評価策定		
	初期値	高木徹也	特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州
	データ集計	浅田崇裕	学習支援員・データ管理・企画立案等
事務局	青木正照	NPO ホットライン信州 専務理事	
外部	事前評価計画策定アドバイス	井原 聖	長野県民文化部 子ども若者局 次世代サポート課 課長補佐兼青少年育成係長
	事前評価計画策定アドバイス	小松幹典	長野県民文化部 人権・男女共同参画課 県子ども・女性応援プロジェクト担当
	事前評価計画策定アドバイス	今給黎辰郎	ファンドレイジングコーディネーター (持続可能な財政基盤の確立)
	事前評価計画策定アドバイス		

### <評価委員会での統一意見の要約>

- ① 食フェスタを通じて行政や企業等との関係性が増し、保管場所が増えたり食糧寄付が増えてきている。
- ② 食料寄付が増えたことで、子ども食堂だけでなく、児童養護施設への食糧支援ができるようになった。食糧支援の供給量は増えてきているが、コロナの影響で食糧支援のニーズもそれを上回って高まっている。
- ③ 保管機能については強化しているが、まだまだ保管・運送・事務局体制の強化が必要。
- ④ 各体制の強化については、いち団体では難しく、行政・企業・NPO・市民の協力が更に必要
- ⑤ 次回の評価委員会では、2022年度の各体制を強化する計画づくりについて話し合っていきたい。



中 日 新 月 報
2022年(令和4年)3月7日(月曜日)
信長長野 12

## 冷凍・冷蔵庫整備、物流を円滑に 塩尻、長野に新拠点開設

塩尻市に設けられた新しい物流拠点。南信方面への支援物資発送にも活用される＝岡谷片丘で

新しい物流拠点は、塩尻市片丘にある商店として使われていた平屋建て(地下一階、延べ約三百五十平方メートル、県庁近くにある旧病院建物の複数の部屋。賃貸で開設し、塩尻市の施設は岡谷市内と南信方面、長野市の施設は北信方面の拠点とする。)

ともに支援物資を保管できる十分な広さがあり、塩尻の拠点は長野自動車道塩尻ICの南側にあり、塩尻市から南箕輪村まで八カ所あり、新たな拠点の整備で計十カ所になる。冷凍・冷蔵庫が完備されているのは松本市や上田市など三カ所だったので、物資保管の面でも充実することになる。

計十カ所は、約百四万ほどが通算され、寄付金のほか、公的な助成金も取り入れていきたいとしている。

同法人が関係している子ども食堂は二〇一六年からスタートし、これまでに県内約百二十カ所で開設され、参加した子どもは約九万四千に上る。

青木正照専務理事(左)は「小学校区ごとに子ども食堂が開設できると、子どもたちも保護者も安心して支援物資を必要に応じて受け取る仕組みを構築でき、子どもたちをアプする機能も持たせていきたい」と話している。

子ども食堂支援の「ホットライン信州」

県内で子ども食堂を開設し、県内各地で開かれる子ども食堂の運営支援もしているNPO法人「ホットライン信州」(松本市)は、新しい物流拠点を塩尻、長野両市に開設した。冷凍・冷蔵庫を整備し、支援物資の受け入れと各地への発送をより円滑にするのが目的。両施設では子ども食堂開設のほか、子どもたちの居場所や事務機能も持たせる方針で、こうした総合拠点は松本、上田市に続き計四カ所になり、県内での運営体制の強化にもなることを期待されている。(石川浩)

# コロナ乗り越え 楽しい食堂へ

長野市 信州子ども食堂 & 長野県と県議会議員視察



11月20日（土）、長野市の「信州子ども食堂」には、子ども33名を含む83名が参加しました。

多くの企業よりたくさんの食材をご提供いただき、たくさんのボランティアさんに支えていただき、とても豪華な愛情たっぷりのメニューに、みんな大喜びでした😊



豪華なお弁当が並びました



サンエイさんのボランティア3名料理づくりに奮闘

会場内では、ポケモンが印刷されたペーパークラフトのクリスマスツリー作りを楽しみました。



受付で野菜などを配布

新型コロナウイルスが子ども達の心に残した影響は奥深く、会場内での食事が可能な状況になってもお弁当の持ち帰りを希望するお子さんも…お弁当を詰めている間もなるべく人の少ない会議室でポツンと待つ姿に、なんとも言えない気持ちになりました😞



たくさんの衣類も並びました



子ども達の中には、デリケートな感性を持った子もいます。みんなが楽しめる子ども食堂にするために何ができるかな～コロナ禍でも楽しんでもらえる方法はないかな～悩ましいな～と思う町田店長でした。

来月はみんなでも楽しめるといいな❤️

子どもと一緒に女性相談

長野県議会議員3名と県民文化部の課長・係長らが、信州子ども食堂の食材や支援方法について県政反映に向けた意見交換をしました。



町田店長に食材の有効活用と篠原女性相談員らに質問をする県議

# イベントに共催 女性応援と相談

塩尻市 子ども&女性応援プロジェクト



9月25日(土)、塩尻市GAZA店で行われた「子供の虐待防止コンサート」(主催:オレンジリボン、後援:塩尻市社協)イベントに共催して、NPOホットライン信州が進めている「子ども&女性応援プロジェクト」と、コーチング事業所「時の駅」・看護師塾S♡T塾長の八島忠保代表ら支援スタッフ2名が参加しました。



子ども&女性応援では、生理用品を無料配布するとともに、女性相談や医療相談を行いました。受付人数は73名、要相談者は6名でした。また、時間の都合で継続相談となった方は後日カウンセリング予定で日程調整することにしました。

## 訪れた方の感想

・メディアで取り上げられている社会問題が、身近で起きているなんてビックリしました。・とても大事な取り組みだと思います。無料でも遠慮しちゃうのが日本人ですね。・気軽にいただいている人がいることで、負い目なく自然にいただくことができた。・娘が多いので助かります。すぐに渡したい。・今は子どもの成長も早くなって、早い時期から生理用品が必要になっている。・私たちの年齢だと生理用品よりも尿漏れのパットがほしい。・コロナでバイトも減らされて就職先もない。・生理の貧困は経済的な事だけではないと思う。お金があっても貧困はある(心理的に)。いろいろな意味で救いになると思う。・もっと生理についてオープンになるべきだと思うから、生理用品!って大きく掲げてくれることはジェンダーとしても大切。・恥じないで、気軽な支援って大切。等々



たいへん好評でしたので今後もプロジェクトとしてイベントに参加する予定です。

10月24日 塩尻市広丘吉田地区文化祭  
(吉田地区公民館)

11月2日 塩尻市文化祭  
(総合文化センター)

※ 事務所での個別相談 対応しています。  
予約制です。ご連絡ください。



# 文化祭にと信州こども食堂 子ども女性応援プロジェクト

子ども&女性応援プロジェクト・信州こども食堂開設



11月2日(火)、塩尻市文化祭(総合文化センター)のイベントに、NPO ホットライン信州が進めている「子ども&女性応援プロジェクト」と「信州こども食堂フードパントリー」が参加。NPO ホットライン信州支援スタッフ4名と子どもが運営しました。

参加者は、子ども11名を含む32名と塩尻市児童民生委員の方々も参加し、支援を必要としている人たちにと・・・支援物資を持ち帰りお届けしました。



正面入り口では、コーチング事業所「時の駅」・看護師塾S♡T塾長の八島思保代表が、子ども&女性応援プロジェクトとして、生理用品を無料配布するとともに、女性相談や医療相談やケアなどカウンセリングも行いました。



## 訪れた方の喜びの声・・・

- ・コロナ禍で仕事もバイトも減らされて、経済的苦しい時に、無料で食材や生理用品などいただけるととても助かります。
- ・毎回開催していただくと嬉しいです。



児童民生委員の皆さんに、女性問題と課題について現況を説明をしている、八島思保さん。



## 子どもと女性応援プロジェクト 「信州こども食堂フードパントリー」

※お米・食材・タオル・冷凍チャーハン・抗菌ウェットティッシュ・子ども用マスクなど配布します。

## 女性用生理用品及び食料品を配布します。

11月2日(火)のみ

時間: 11:00~13:00

※なくなり次第終了

場所: 総合文化センター1階 ロビー



11月2日の子どもと女性応援プロジェクトの配布と宅配も行います。また、ボランティア参加の希望者を募集しています。

# 0円スーパー・子ども、女性応援プロジェクト

上田市 丸子ライオンズクラブ&ホットライン信州



12月19日(日)、丸子ライオンズクラブが主催して上田市で開いた「0円スーパー、0円食堂」。NPO ホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)が共催して、他団体・個人から大量物資を集め、407名の方に無料提供しました



コロナ対策で入場制限したにも関わらず多くの方が訪れてにぎやかでした



開店前にたくさんのお客さんが並んだので時間を早めて開きました

赤ちゃんには粉ミルクをどうぞ!



真心の灯油サービスです。

30代のお母さんは、小学生の娘さんを連れて「母子家庭で生活が苦しく新聞チラシをみて安い商品を選び少なめに購入しますが、今回は大量の食料品をいただき助かります」と、皆さん重いバックを持って笑顔で帰って行きました。



当日の運営スタッフ・ボランティアさんたちです



NPO ホットライン信州の女性スタッフらは、子ども&女性応援ブースで面談しながら、生理用品などの応援物資を渡すと「これで安心して良い年を迎えられる…」との喜びと感謝の言葉をいただきました。

# 明るい新年願い 年越し物資配布

You  
Tub



松本市 年越し子ども食堂 in しまうち

12月31日（金）、松本市島内公民館で、「年越し子ども食堂 in しまうち」を開催し、子ども120名を含む約250名が参加しました。



食材・衣類・ドーナツなどの応援物資  
2万点・1トンを配布しました



新年は、明るく・元気に・笑顔になって欲しいとの想いを込めて、島内の東方町会の皆さんによる本格の手打ち年越しそばに、新鮮なイチゴとリンゴのチーズタルト、豚汁を食べていただきました。



毎回ご寄附をいただきありがとうございました。子どもたちからの600通を超えるお礼のメッセージを「おじいちゃん・おばあちゃん・おじちゃんおばちゃんたち」を代表して受け取り、ご披露させていただきました。



子どもたち約600人から「みんなのおいちゃん」たちにと感謝のメッセージをいただきました。12月31日（金）松本市の「年越し信州子ども食堂」にて、年越しそばなど約250名に配りました。



手打ちそばを打ってくださった東方町会へ感謝状の授与式

多くの食材、お米、牛乳、衣類、生理用品夜昼用などたくさんの物資を持ち帰っていただきました。

様々な面談に応じている



子どもと女性の相談に乗るスタッフ



# 寒さもコロナも 吹き飛ばそう

松本市 信州子ども食堂 in まつもとどん八



2月10日(木)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもとどん八」は、夕刻の雪降る寒さの中、子ども46名を含む78名が参加しました。



松本市焚き出し隊みらい様から「温か肉まん」と「ウインナーソーセージ」をいただきました。

コロナ禍の影響で苦慮している子どもと家族が元気にと、前回に引きつづき、玄向寺様の「浄土宗ともいき財団」助成事業で「そうすかつ丼50食」とドーナツ、お菓子果物を届けてくれました。

どん八様の「いなり寿司」、三菱食品様からマンゴーフロズンケーキとチーズケーキをいただき、食材とお菓子🍌、生理用品、衣類などの物資の配布を受け、皆でコロナを吹き飛ばそう！の機運が盛り上がりました🍌。



2月11日にSBCテレビとラジオで放送されました。▶



# 「生活が大変！」 約9割が回答

長野市 信州子ども食堂 in 篠ノ井に 477名

年度末にかけて、ひとり親家庭を中心に子育て家庭を支援するため、大きな県営団地が近くにある篠ノ井地域で 3月19日 24日 30日の夕方、長野市のJA グリーン長野グリーンパレスで「信州子ども食堂 in 篠ノ井」を開催しました😊

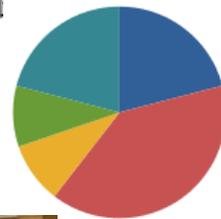


19日は、子ども 80人を含む  
143人。24日は、子ども  
147人を含む 221人

もの参加にびっくり😊！  
しました。  
30日は、子ども 118人  
を含む 187人が参加  
しました。

居住地域

- みこと川
- 篠ノ井
- 川中島
- 三本柳
- その他

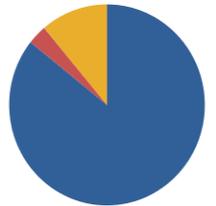


お母さんたちから「子どもたちが春休みになり、毎日3食のごはんの準備と、新学期に向けての準備。子育て世帯には、この時期大きな出費が重なるので、子ども食堂で美味しいお弁当に、たくさんの支援物資はとても助かる」と大好評でした。



生活が大変と感じている？

- 生活が大変と感じている
- 感じていない
- 無回答



地域のニーズを探るためのアンケートを参加者にお願ひしました。結果から見た状況は、ひとり親に限らず88%の子育て家庭が「生活が大変」と感じていることがわかりました。改めて私たちの役割は重要だと感じました。

これからも信州子ども食堂は、子育て家庭のみなさんの、ほんのちょっとした助けとなるべく力合わせて活動していきます。

篠ノ井地域のみなさん、第3土曜日のふれあい福祉センターにもおでかけくださいね！



# 中南信の拠点 塩尻市で初開催

塩尻市 信州子ども食堂 in しおじり



3月29日（月）と31日（水）の2日間、塩尻市片丘の物流拠点で「信州子ども食堂 in しおじり」を初開催😊しました。



会場は、全国からの支援物資を集約し、中南信地域の信州子ども食堂ネットワークへ届ける重要な拠点😊。立地が良くアクセスしやすい場所で、入りやすさと広さも十分です。

地域の多くの方に、福祉の拠点として活用いただきたい！春休み中の子育て家庭を応援したい！そんな思いから平日の開催。

急な開催にも関わらず、29日は子ども22名を含む34名が参加。31日は子ども31



名を含む60名、延べ100名の参加がありました。

支援物資や古着を選んでいる間、手作りの万華鏡作りに楽しむ子どもたち



郵政局の職員が視察に訪れ、支援物資と女性応援プロジェクトについて協働で取り組むことを検討しました。詳しくは後日のネットワーク便りで報告します😊。

この拠点では、学習スペース「こすたば」も新設予定。4月26日から毎週火曜・木曜（17時～19時）の2時間開催します。地域の食と学びを支え、交流を育む場所として進化しつづけます！

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレ

# コロナに勝つ!おもいやりの心

## 信州こども食堂応援リレーの紹介

「信州こども食堂」は、全国フードバンク推進協議会・全国食支援活動協力会を始め、協力団体・企業・お寺・個人など、多くの皆さまのご支援を賜っております。

お寄せいただいた寄贈品は、各地の「こども食堂」と必要とされている方への支援に生かしています。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。「信州こども食堂ネットワーク便り」

「SNS」等で掲載した一部を紹介させていただきます。(順不同・敬称略)



**コロナ禍は、思いやりと  
支え合いで乗り切ろう!**

### いただいた食材をフル活用する信州こども食堂ネットワークの各食堂

「信州こども食堂ネットワーク」の各こども食堂では、県内外でご寄贈いただいた食材や食品を無駄なく活用しています。また、余った食材などは、必要としている、子ども世帯の家庭に持ち帰っていただき、家族での食卓で利用して頂いております。



2021年3月～2022年4月までの受取物資と配布物量は、**80万点・191ト**と多くの方々のご協力により、支援させていただきました。

「信州こども食堂」で、食材を有効に使いながら、子どもたちと一緒に、美味しく食べています。

全国フードバンク推進協議会や全国食支援活動協力会などを通じて、全国各地の企業様から、多くのご寄贈品が届いています。

ご寄贈していただいた、支援物資は「信州こども食堂ネットワーク」や「フードパントリー」を通じて、支援が必要な家庭に渡し、子どもと家族の笑顔に変わっています。



子どもと家族を支えよう!  
支え~助けあい~ 心と心がかよう 信州子ども食堂

♥あしながおじいちゃんから ご寄付を戴きました

この度は、あしながおじいちゃんや MF、US、MK さんから「コロナ禍の影響で苦労している子どもたちのためにと.....」  
ご寄付を戴きました。  
ありがとう  
ございました。  
愛・ラブ・ユ〜

ご寄付を戴き、感謝のお手紙です。

皆さんのご寄付で、子どもたちが安心して生活するために必要な活動を通じて、多くの子どもや家族が救われ笑顔が増えています。



みんなで「おじいちゃん」感謝のポーズ。



女神さまは以下の方々です  
TI/EI/SI、KY、KK、TM 様

女神さまから多くの「ご寄附やギフト・図書カード等をいただきありがとうございます」と感謝しております。

新型コロナウイルスに 負けないぞ! ~信州子ども食堂

(株)日本アクセスさんから これまで「食品類 12万点 3.6ト」のご寄贈

2019年10月~2022年3月までに、株式会社日本アクセス長野支店様から、コロナ禍の環境で頑張っている子どもと家族を応援する為に、様々な食品類約121,100点3.6ト(写真)のご寄贈を受けました。この間、各信州子ども食堂や台風19号被災地長沼・豊野地区の各子ども食堂や新型コロナ禍での影響を受けた、支援を必要としている子どもや家族の皆さんに配らせて頂きました!(株)日本アクセス皆さん ありがとうございます



食品の提供・譲渡に関する合意書の提携



(株)日本アクセスとNPOホットライン信州が食品提携の合意書に基づき、食品提供を受けております。お問い合わせは、NPO法人ホットライン信州(信州子ども食堂) 0120-914-994

円福幼稚園の6名さんから「白米」をいただきました  
「新型コロナ禍」元気にコロナに勝つ! 各 信州子ども食堂活用

12月19日(土)長野市篠ノ井の円福幼稚園で、年長の子ども達がお米作りをしました。種まきから脱穀まで行なったお米を園児達が話し合い、子ども食堂にも贈りたいとのことで、「白米20kg(写真)」を大きなメッセージを添えて園児6名が、信州子ども食堂に新米を届け、食育の学びなどしてくれました。

早速! Xmasポップアップカードと一緒に創ったあとは、お土産に信州プレミアム牛肉のお弁当を持ち帰りました。昨今のコロナ禍の萎縮した嫌なムードを明るくしてくれました。円福幼稚園の皆さん ありがとうございます。



円福幼稚園の皆さんは、しっかり食育の勉強とXmasカードを思い思いに創りに夢中でした。

富士見の池田さんご両親さんから  
ご寄附や図書券を戴いています。

子どもたちは、文具類や参考書などを買って勉強を頑張っています。

図書券を手にした子どもたちは、早速ドリルや参考書・文具類を買いました。



ろうきん松本支店と本店の  
青年女性委員会からご寄贈

労金2月松本、8月本店の青年女性委員会から会員から集めた寄贈品をいただいております。



8月本店営業部青年女性委員会よりご寄贈品



2月松本労金青年女性委員会よりご寄贈品

**子どもと家族を支えよう!**  
**支え〜助けあい〜コロナ禍に勝つ! 信州子ども食堂**

マルイ大町店さんより、お菓子(写真)をいただきました

毎年・毎回 約780個  
 をマルイ大町店のお客様やスタッフ  
 の皆さんから暖かいお気持ちの端  
 玉菓子をいただきました。  
 毎回のご寄贈に感謝も申し上げます。



2016年の熊本震災時から、ご寄贈していただいている、この思いやりの  
 のきずなが繋がるように、台風19号被災地豊野へ2月23日に被災地の  
 子どもたちや各信州子ども食堂に必要なご家庭にお届けしております。

KEIZ 松本店さんより沢山の お菓子を戴きました。←  
**新型コロナ禍で苦労している子どもと家族に支援**

**広がれ! 信州子ども食堂**

毎回、KEIZ 松本店さんよりお菓子  
 約800個をいただいております。  
 蔓延しているコロナ禍の影響を受  
 けている子どもや家族と必要として  
 いる家庭に配布させて戴きました。  
 多くの子どもたちから、「たくさん  
 のお菓子をもらって嬉しい」「美味し  
 かった」と多くの喜びの感想を毎回寄  
 せられております。  
 KEIZ 松本店の お客様とスタッフ  
 皆様さん ありがとうございます。



多くの子どもたちに笑顔に変わっています。



**“もったいない”を“ありがとう”でつなぐ心のお菓子リレー**

このお菓子のご寄贈は、パチンコ店に訪れるお客さんやスタッフの方が景品でもらうお菓子  
 などを“子どもたちに食べて欲しい!”との思いで集まったものです。  
 ご寄贈を受け、各子ども食堂や支援を必要としているご家庭へお届けしています。  
 子どもたちは、毎回たくさんの種類のお菓子を楽しみにしています。ありがとうございました。

**APULO アプロールズ 募菓子箱**

APULO さんより、毎月第2木曜日信州子ども食堂 in  
 まつもとどん八の時に お菓子を戴いております。



**子どもと家族を支えよう!**

**サンエイ様からご寄附いただきました**



県内でパチンコ店のニュー  
 トークョーグループを展開する  
 長野市のサンエイさんは、夢  
 チャリティーと名付けた寄付  
 は15回目、県児童福祉施設  
 連盟と県立子ども病院に各  
 200万円を、今回初めて県内  
 126か所の子ども食堂をサ  
 ポートするホットライン信州  
 に100万円の贈呈をしてい  
 いただきました。



また、「信州子ども食堂」貴社の従業員さんがボランティアにも  
 参加。さらにパチンコ店で景品交換に使用している端玉菓子の  
 配布を行っています。子ども食堂に集まったお子さんは勿論、親  
 御さんにも大変好評いただいています。今後も子ども食堂への  
 支援活動を引き続き行っていくともお言葉もいただきました。

**子どもと家族を支えよう！**  
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

宮田村の圓浄寺さんよりお米 松本市の玄向寺さんより  
・砂糖・食材をいただきました ドーナツをいただきました



6月17日(木)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古藤崇志様から、おすそわけ(砂糖 120㌔・お米 10㌔・お菓子など食品類 約260点(写真)を戴きました。

また、同日夕方、松本市の玄向寺さんからお檀家様(松本市 惣社「渡辺製菓所」様)よりドーナツ76個(写真)を届けていただきました。信州子ども食堂や新型コロナ感染対策の影響を受けて、必要としている子どもやご家族の皆様にご利用していただきます。ありがとうございました。

NPOホットライン信州

全国のお寺から「おすそわけ」を「おすそわけ」として「おすそわけ」



お問い合わせは、NPO ホットライン信州

0120-914-994 にお願います。

**子どもと家族を支えよう！**  
新型コロナウイルスに 負けないぞ！～信州子ども食堂

長野県労働金庫・同労働組合様から生理用品「2パック」  
2,790個ご寄贈！信州子ども食堂ネットワークにて配布始まる

7月17日(土)長野市開催の信州子ども食堂で、長野県労働金庫及び同労働組合様、労使双方から「生理用品ナプキン2,790個」を経済的な理由などにより、生理用品を購入できない方への無償配布して欲しい旨、受け取りました。早速、信州子ども食堂ネットワークを通じて配布して行きます。



長野県労働金庫小池政和理事長よりご寄贈品の目録と同労働組大澤真也委員長から寄贈品が女性を代表して高校生2人に手渡されました。



お母さんや女性の皆さんが次回の申し込みをいたしました。



市内の高校生が寄贈品を受取、長野県労働金庫小池理事長(左奥)と同労働組大澤委員長に感謝状を読み上げ、お渡ししました。



女性応援プロジェクトも、各会場同時開催し、生理用品を必要な方360名にお渡し、様々な生活相談をしました。



支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

**コロナ禍 長野市に「寄付金型自動販売機」設置！**

長野牛乳さんが NPO ホットライン信州の信州子ども食堂ネットワークに売上金の一部を寄付する



6月28日(月)、NPO ホットライン信州へ自動販売機の手数料1%をダイドーさんと一緒に寄付する、自販機を設置してくれました。

長野牛乳さんは、毎回牛乳を「信州子ども食堂」に提供して戴いてきました。



6月29日(金) 信濃毎日新聞



自販機の前でホットライン信州のスタッフの子どもから記念の花束を受け取る長野牛乳の従業員女性

長野に子ども食堂支援自販機 売り上げの一部を寄付

**新型コロナ対策**

**信州サーモンの愛情お弁当で笑顔になる「広がれ！信州子ども食堂」**

NPO ホットライン信州では、猛威を振るう新型コロナで お困りの 子どもたちを支えよう！と、信州サーモン(吟醸漬焼き)やお米(県産うるち米) & 支援物資(カルピスウォーターやフェイスタオル・ジャム)などの提供 を 信州子ども食堂ネットワーク の子ども食堂を通じて配布しています。信州サーモン予約4,500人分は終了しました。

**4,500人完！実施期間～7月31日**

今回の信州サーモン2切れ・お米/1人各100gは、各子ども食堂からの申し込みが多く、6/26日無事終了いたしました。ありがとうございました。



**圓浄寺 さんからお米とお砂糖の「おすそわけ」いただきました**

9月9日(木)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古藤崇志様から、おすそわけ(お米 20㌔・砂糖 72㌔・お菓子など食品類約60点(写真)を戴きました。

信州子ども食堂ネットワークや新型コロナ感染対策の影響を受けて、必要としている家族の皆様にご利用していただきます。

今回は、南信地域の子ども食堂の皆さんが、本部事務所に来ていただきましたので、その場でお渡しすることもできました。 圓浄寺さん ありがとうございました。



# 子どもと家族を支えよう！

デリシア様からこしひかり  
153キ。いただきました。

9月15日(水)、株式会社 デリシア 様 から長野県産・あずみ野産こしひかり 21袋 153キ。いただきました。  
猛威を振るうコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂に配っていきます。  
ありがとうございました



# 子ども応援プロジェクト

コロナ禍で苦労している 中学生以下の子どもたちへ

NPO ホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)では、爆発的なコロナ感染拡大の中で、弱い立場にある...子どもたちにそのしわ寄せが及んでおります。コロナ化で苦労している、子どもたちを応援しようと「子ども応援プロジェクト」を、地域の居場所として長野県内にある信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂が物資の提供などの応援をしておりますので、ご活用ください。



京都の農産物を味わってもらえることを楽しみに、京都府農林水産部さまからの協力でいただけます。

# 子どもと家族を支えよう！ 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

三菱食品様とキューピー(株)様から 食材を いただきました  
驚異的な「コロナ不況」に勝つために！各地 信州子ども食堂にて活用

2月8日、全国食支援活動協力会を通じて、昨今の驚異的なコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、三菱食品様から、フコトが「フコト」加-炒め210袋・マツの「マツ」ケーキ320袋・チーズケーキ160袋が長野市・松本市に届けられました。  
つづく、2月9日キューピーみらいだまご財団様から、おろし大根4,200個、きざみ玉ねぎ3,000個づつ長野市・松本市・上田市のログ拠点に平均に届けられました。😊 ありがとうございます😊  
県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂ネットワーク」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。  
多くの親子に笑顔を！



長野市ログ拠点



上田市ログ拠点

松本市 ログ拠点

9月2日入荷 宇治茶 3種類 6,000袋



9月7日入荷 どんり焼き 15,000個



9月10日入荷 お米10キ

※その他の企業様から お菓子など  
9月2日～29日の間、京都府農林水産部を通じて「京娘のどんり焼き(3万個)・京都茶(1万2千袋)・酒米(月桂冠15キ)」が入荷・受取・配布・配達をみんなの協力が実っています。山之内・長野市・中野市・飯田市・伊那市・諏訪市・上田市・小諸市・中信地域の子ども食堂のスタッフが受け取りに來たり、更に、スタッフが配達や届けに行ったりの活躍で、多くの子どもたちの笑顔がみられます。  
これからの一時...美味しいお菓子やカレーライス・チャーハンなどを食べて、ほっとする一時のお茶がうれしいですね。 その他に、佃煮:40g×2,005個、ふりかけ:2g×900個が予定されています。



皆の心と力合わせ！

# キューピー様から くちどけいちご・りんごを戴きました 年越し「コロナ不況」に勝つために！各地 信州子ども食堂にて活用

12月17日(金)、全国食支援活動協力会を通じて、キューピーみらいだまご財団様から「アヲハタくちどけいちごりんご」各540袋 1,080袋 540キ。が松本・長野拠点に届きました。😊  
コロナ禍で苦慮している子どもと家族のために活用されています。  
ありがとうございました  
県内それぞれの 信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂で、創意工夫をして、食べていただいております。😊



更に、12月31日年越し信州子ども食堂でも、活用させていただきます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 お願いします。

# 波田の太田さんからりんご1200キ。のご寄贈がありました。



11月下旬と12月16日(木)波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ) 3800個 1200キ。のご寄贈がありました。



各子ども食堂での活用方法、参考までに.....

# 子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに **負けないぞ！** ～信州子ども食堂

アサヒグループ食品様から おみそ汁・のど飴等々いただきました  
**新年！コロナ禍に勝つために！各地の信州こども食堂にて活用**

12月30日(木)、全国食支援活動協会の通じて、アサヒグループ食品様から、みそ汁・スープ8種類、のど飴ミンティアブリーズなど30,552袋、約8tが松本市の本部事務所・12月27日(月)にまるこ福祉会に届きました。ありがとうございました。😊

早速！12月31日の「年越し信州こども食堂」で配るほか、コロナ禍で苦慮している子どもと家族のためにと、県内それぞれの信州こども食堂ネットワークと「各地域こども食堂」や「必要としているご家庭」に順次配らせていただいております。😊

お問い合わせは、NPO ホットライン信州  
 0120-914-994 にお願ひしま



上田市に4t車で届く



松本市に4t車で届く



# こども食堂のつくり方

こども食堂には、いろいろな形と多様性がありますが、「こうでなければ」という決まりはありません。

「なにかをはじめたい」という方のために「こども食堂のつくり方」のイメージを簡単に紹介します。

まず 準備として  
**イメージしてみましょう**

- 月に何回開くか  
(月 1~2 回が多い)
- 1 回の利用者数は何人か  
(1 回 20~30 食が多い)
- どんな人に来てほしいか  
(子ども・親・サポーター)

## 他地域の実施例を見学

「長野県各地の『こども食堂』」を参考に、お近くのあるいは自分の思いと共通するような場所へ見学に行ってみましょう  
(公民館・お寺・個人宅など 数力所見学)

よし！ やってみようと思ったら、まず **実行**

## 仲間を集めましょう

開催の周知や会場の準備、食材の手配、料理、片付けなど、仲間と分担するのがおすすめ

「場所とネットワークを」はじめてから仲間や協力者が増えていくこともあります(食材を提供する方、調理師・栄養士の方、資金の提供者やボランティアの募集)

<実際に考えるあれこれ>

- **場所**  
公民館などの公共施設、お寺、個人宅、飲食店など。利用者数にあわせて、無料または安価で利用でき、こどもたちが集まりやすいのが良い。

- **運営費**  
場所代、光熱水費、食材費(子ども無料・大人 100~300 円のカンパ)、チラシ作成などの宣伝費

- **周知・呼びかけ**  
こどもたちへどのように知らせるか。どんな人に来てほしいか。どんなチラシを何枚作り、どこへどのように配るか。

- **当日の運営方法**  
準備の開始から調理、片付けまでの段取り。食事提供以外の企画。役割分担。総括と次回への活用。

## 信州こども食堂ネットワーク保険加入について

NPO ホットライン信州では、こども食堂の活動への参加者を対象とした賠償責任保険と障害保険に加入しました。対象者は、信州こども食堂への参加者(子ども、親、スタッフボランティアなど)が対象となります。

保険内容

賠償責任保険	身体財物	2 億円
	管理財物	5 0 万円
	人格権侵害	5 0 万円
	事故対応費用 (1 事故・保険対応中)	5 0 0 万円
	見舞費用 死亡	5 0 万円
	後遺障害	2 万円~5 0 万円
入院日数に応じて 2~1 0 万円/通院日数に応じて 1~5 万円		
傷害保険	死亡保険金額	5 0 0 万円
	後遺障害保険金額	5 0 0 万円~2 0 万円
	入院保険金額	5, 0 0 0 円
	手術保険金額	入院保険日額の 5, 1 0 倍
	通院保険日額	5, 0 0 0 円

こども食堂に参加・活動していて・・・



怪我をしたとき、させたとき 食中毒等にかかったとき



保険の適用される条件として、信州こども食堂として活動していること  
・開催の事前報告必須(当法人一覧表に明記)、チラシに「共催 NPOホットライン信州」だと完璧  
・開催後の人数報告必須(子供・大人・スタッフ)、報告書や写真があれば完璧  
・信州こども食堂ネットワークでの「各こども食堂」への参加と食材・機材等の運搬などとなります。

**子ども支援リレーの充実**  
「子ども用品・服などの無料提供と食品・子ども用品寄贈募集受付の検討」

## 《重要》 安全に細心の注意を！

こども食堂をはじめめるには、特別な資格はいりませんし、届け出を出す必要はありませんが、食べものを提供する以上、その安全には細心の注意が必要です。

信州こども食堂ネットワークでは、調理上の注意などをまとめた「**衛生マニュアル**」を備えています。

衛生 マニュアル	
目 次	
1. 対象施設	1-1
2. エキップメント	1-2
3. 手洗いの権利	2-1
4. その他取組むべき事項	2-2
5. 調理・配膳	3-1
6. 配膳	3-2
7. 店舗管理等の取り組み	4
8. 清掃衛生上の取組	7
9. 片付け	7
10. 配膳	7
11. 配膳	7
12. 配膳	7
13. 配膳	7
14. 配膳	7
15. 配膳	7
16. 配膳	7
17. 配膳	7
18. 配膳	7
19. 配膳	7
20. 配膳	7
21. 配膳	7
22. 配膳	7
23. 配膳	7
24. 配膳	7
25. 配膳	7
26. 配膳	7
27. 配膳	7
28. 配膳	7
29. 配膳	7
30. 配膳	7
31. 配膳	7
32. 配膳	7
33. 配膳	7
34. 配膳	7
35. 配膳	7
36. 配膳	7
37. 配膳	7
38. 配膳	7
39. 配膳	7
40. 配膳	7
41. 配膳	7
42. 配膳	7
43. 配膳	7
44. 配膳	7
45. 配膳	7
46. 配膳	7
47. 配膳	7
48. 配膳	7
49. 配膳	7
50. 配膳	7
51. 配膳	7
52. 配膳	7
53. 配膳	7
54. 配膳	7
55. 配膳	7
56. 配膳	7
57. 配膳	7
58. 配膳	7
59. 配膳	7
60. 配膳	7
61. 配膳	7
62. 配膳	7
63. 配膳	7
64. 配膳	7
65. 配膳	7
66. 配膳	7
67. 配膳	7
68. 配膳	7
69. 配膳	7
70. 配膳	7
71. 配膳	7
72. 配膳	7
73. 配膳	7
74. 配膳	7
75. 配膳	7
76. 配膳	7
77. 配膳	7
78. 配膳	7
79. 配膳	7
80. 配膳	7
81. 配膳	7
82. 配膳	7
83. 配膳	7
84. 配膳	7
85. 配膳	7
86. 配膳	7
87. 配膳	7
88. 配膳	7
89. 配膳	7
90. 配膳	7
91. 配膳	7
92. 配膳	7
93. 配膳	7
94. 配膳	7
95. 配膳	7
96. 配膳	7
97. 配膳	7
98. 配膳	7
99. 配膳	7
100. 配膳	7

不測の事態に備えた保険加入は「**ホットライン信州**」への加入で大丈夫です。

**開催前後の報告は必須です**

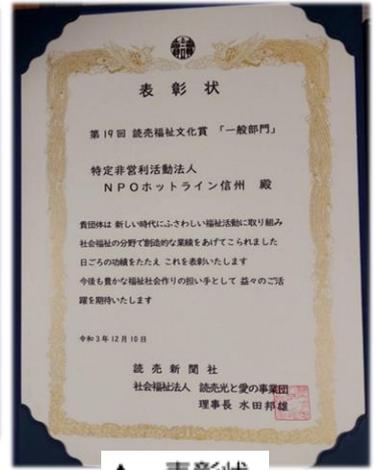
## 信州こども食堂ネットワークが応援します

運営方法はもちろん、県民や協力企業などからご提供いただいたお米・食材や子ども用品の分配、チラシの作成とNPOホットライン信州ホームページでの周知、「信州こども食堂ネットワーク便り」の編集、指導員・専門家の派遣など、「なにかをしたい」みなさんを応援しています

# みんなの「心と力合わせ」の成果！

## NPO ホットライン信州 2021 年読売福祉文化賞を受賞

12月10日(金)新しい時代にふさわしい福祉活動を実践している 団体や個人を顕彰する「読売福祉文化賞」の受賞6団体が決まりました。一般部門に45件の応募の中から「NPO ホットライン信州」など3団体が受賞、オンライン上で表彰式が行われました。



### 受賞授与のあいさつ

「今回の読売福祉文化賞の受賞は、私どもの事業に賛同し、ご支援を戴きました、多くの企業・団体・個人の皆様々と活動に関わったスタッフとボランティアの方々、お一人おひとりの『心合わせ と 力合わせ』の成果につながったものであります。 皆さん、ありがとうございました。」

2021年(令和3年)11月16日 火曜日 信濃毎日



子育て世帯支援 生坂で食料配布 村教委、松本のNPOなど 生坂村教委とNPO法人ホットライン信州松本市などは14日、子育て世帯を支援する無料食品配布会を村内で開いた。コメや菓子、できたての弁当などが約30世帯の親子連れなどに配られた。写真。各地の子ども食堂に物資を提供するホットライン信州が、村の保健師から「暮らしに困る子育て世帯などを支援し、悩みを打ち明けられる場を作りたい」と相談されたのがきっかけ。2019年の台風19号災害で炊き出し支援をした星野良和さん(57)長野市もキッチンカーで駆けつけ、チャーハンとスープの弁当約100食を提供した。1歳の子を育てる30代主婦は「ありがたい取り組み。今後も続けてほしい」。星野さんは「目の前で作った温かいご飯は喜んでもらえる。



顔を持ち帰ってくれてよかったと話していた。ホットライン信州は月1回をめぐりに続けたいとしている。

### NPO法人 NPOホットライン信州 (長野県松本市)

生活困窮者らを対象とする365日24時間の無料電話相談は、この10年で3万2000件を受理した。面談同行支援は3800件に上る。ボランティアが対応し、食品を提供するなどして自立支援に取り組み。相談活動は、リーマン・ショック後の不況で、生活に困った人たちの支援活動をしていた代表理事の村上晃さん(64)、専務理事の青木正照さん(70)らを中心に2011年に開始。東日本大震災で長野県にも身を寄せた被災者から生活相談を受けるようになったことが契機だ。16年にはこども食堂の運営も始めた。支援を目的に組織した「信州こども食堂ネットワーク」に登録する活動拠点は県内115か所に増え、参加者は延べ9万人を超えた。家庭や企業から集まった食品や生活用品

### 困窮相談、こども食堂も

を必要の人に届けるなどの活動を展開する。村上さんは「受賞は活動に携わるみんなの努力の結晶と喜ぶ。最近、3人の息子を1人で育ててきた母親から「お金がかかりすぎて、死にそうになった時、助けてもらい、感謝しています」とのLINEを受け」という青木さんは「こども食堂を通じて支援を行う県内拠点を370か所に増やしたい」と意欲を語る。(長野支局・新井勝)



食品配布会の準備をする青木さん(長野県生坂村で)



# 企業も協賛 支援の輪広がる

長引くコロナ禍で送りやアルバイトが減って経済的に困窮し、帰省も難しく、授業もオンラインが多いなどで孤立感を抱える学生への支援が課題になっている。こうした中、主に貧困世帯の子どもに食事を提供している各地の「子ども食堂」が、支援の対象を大学生などにも広げ始め、企業も協賛するなど支援の輪が広がりつつある。

(佐竹伸子)

松本市に拠点を置くNPO法人「ホットライン信州」が、同市や長野市などで運営する「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」でも、これらの食材を配った。通常大人は300円のカンパが必要だが、学生は無料に。市民約70人が訪れ、このうち学生は7人。松本の食材配布は特に留学生の来場が目立つといい、この日もベトナムからの留学生、グエン・レ・ユイ・アン(20)さんら3人が初めて訪れた。

同法人はこれまで、県内外の企業から寄付された食材などを、子ども食堂に活用してきた。学生支援の動きに4月、県農協中央会(長野市)から米2トが贈られたほか、長野銀行(松本市)も職員らが集めた乾麺やレトルト食品など701点を寄贈した。ほかにも多くの企業や個人から、続々と物資が集まっている。

4月24日に松本市駅前記念公園などで開いた「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」でも、これらの食材を配った。通常大人は300円のカンパが必要だが、学生は無料に。市民約70人が訪れ、このうち学生は7人。松本の食材配布は特に留学生の来場が目立つといい、この日もベトナムからの留学生、グエン・レ・ユイ・アン(20)さんら3人が初めて訪れた。

ボランティアが振る舞う昼食の手打ちうどんを食べ、グエン・ティ・トゥイ・ユンさん(21)、ホアン・ザ・バオさん(20)も「おいしい」と笑顔に。毎日自炊しているが「米や野菜、鶏肉など最低限のものしか買えない。食品をもらえるのは、すごくありがたい」と喜んだ。



子ども食堂で提供されたうどんを食べる、ベトナムからの留学生

## 困窮する留学生にも

3人は「どうしても日本で学びたい」とコロナ禍のさなかの昨秋来日し、今春、信州大に入学。生活費を賄うためコンビニやレストランでアルバイトをしている。「もっと働きたいがオーダーがなく、週1~2回しかシフトに入れてもらえない」と嘆く。

グエン・アンさんは、長野銀行からの物資の贈呈式で、学生代表として感謝状を読み上げた。今後は都合が合えば、子ども食堂などのボランティアにも関わりたいという。

子ども食堂は物資を提供するだけでなく、居場所や交流、困った時の身近な相談先にもなる。青木専務理事は「コロナ禍が長引き、厳しい状況が学生にもボディーブローのようにじわじわと効いてきている。感染拡大が収束するまでは支援を続けたい」とする。

「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は毎月第4土曜に開催。詳細はホームページまたはフェイスブック(「ホットライン信州」で検索)に。電話相談は☎0120・914・994



長野銀行が職員から集めた食材を寄付した贈呈式 4月23日 本店

信濃毎日新聞 5月9日(日)

# 学生支える「しっかり食べて」

新型コロナウイルスの影響で食費の捻出にも苦悩する学生たちを応援する食料の無料配布が8日、長野市の県庁であった。アルバイト収入や仕送りが減少している学生が少なくないといひ、420人ほどが約1週間分の食料を受け取った。

## 長野で食料配布行列も

### 新型コロナウイルス 食費にも苦労…



食料を受け取る学生たち

新型コロナウイルスの影響で飲食店のアルバイトが減ったのでありがたい。今春から1人暮らしを始めた清泉女学院大看護学部1年の豊田菜月さん(18)も「看護実習が始まる来年夏まではバイトをしたい。早く感染が落ち着いてほしい」と切実な思いを話していた。



29日には松本市で、同様の食料配布を行う。

## コロナ禍の環境で困窮している学生にお弁当 430食と食料支援



▲5月8日夕方の長野放送で放映されました。▼



# こども食堂、行ったことがありますか？

# 信毎こども新聞

## 教えて!

### だれでも参加し交流できる、地域の居場所。

### 長野県内では約100カ所で活動。

Q こども食堂ってどんな場所？ 子どもはだれでも行けるの？  
 A 子どもに限らず、だれでも参加できます。子どもを中心に、大人やお年寄りが大家族のように集まり、子どもは無料、大人は1人300円くらいの協賛金を支払って食事の提供を受けます。こども食堂は学校でも家庭でもない、地域みんなの居場所。「楽しくて

ぎやかに、おいしくいただきました」と感想を話す人もいます。  
 Q いつごろできたの？  
 A 2012年ごろ、東京の八百屋さんが、家でごはんを1人で食べる「孤食」の子どもたちに食事をふるまう場として始めました。その後、全国に広まり、長野県では16年1月、私たちが長野県で「信州こども食堂」を初めて開

みなさんは「こども食堂」に行ったことはありますか。公民館などで子どもたちに安く食事を提供し、交流も深める取り組みです。68「こども食堂ネットワーク」によると、ネットワークが活動を支援する県内のこども食堂は約100カ所あります。新型コロナウイルスの感染拡大で、天勢でぎやかに食事をするのが難しい中、地域の大人たちが工夫して活動を続けています。信州こども食堂ネットワーク事務局長の青木正照さん(71)=松本市=に現状と課題を聞きました。

**県内のこども食堂 コロナ下の取り組み**

- 屋外で弁当を食べる「青空こども食堂」
- 大学生への食材配布
- 家庭の茶った食べ物を集めるフードドライブ
- 宿題などの学習支援
- 国連のかかげるSDGs(持続可能な開発目標)の学習会

**全国のこども食堂の数**

年	数
2018	約2000
19	約3500
20年	約4500

6月19日に長野市で行われた「信州こども食堂」では、手分けして弁当を作り(写真左)、集まった人に配った。子ども向けの学習会(写真右)も行われた

問い合わせはNPO法人ホットライン信州 0120-914-994  
 信州こども食堂ネットワークの情報 <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>

### 教えてくれたのは

### 信州こども食堂ネットワーク事務局長の青木正照さん(松本市)



「最近のこども食堂は、弁当や食材を配るのが活動の中心。にぎやかに食事ができる状況に早く戻してほしい」と話す青木正照さん

1949年、松本市出身。大手電機メーカーに入社し、労働組合の活動にも参加。地域の労働組合でつくる「連合長野」の事務局長も務めました。選挙後の2011年に生活に困っている人を助けるNPO法人「ホットライン信州」を発足させ、電話相談などに応じる中で、16年1月にこども食堂を始めました。同年2月には「信州こども食堂ネットワーク」を立ち上げ、各地のこども食堂の運営を受けています。

きました。すると、県内各地から見学者が訪れ、2年後には50カ所になりました。今は約100カ所で仲間たちが運営しています。  
 Q 食事以外はどんなことをしているの？  
 A 子ども同士で遊んだり、勉強を教えたりとさまざまな形で交流しています。子育てや仕事に追われるお母さんにとっては、ほっとひと息つける場所です。子育てや生活の悩みも相談します。子どもにとっても、いろいろな大人と接することでコミュニケーション力や生きる力が身に付く。わいわいがやがやと楽しいこども食堂ですが、新型コロナウイルスの感染拡大で様子は一変しました。

## 新型コロナの感染を防ぐため活動に工夫。

### 子どもが主役、大人がサポート。

Q 昨年からコロナの流行でこども食堂の活動はどう変わったの？  
 A にぎやかに食事を楽しむことも食堂は「密」になりがちです。大きな鍋や大皿の料理を各自でよそスタイルは感染拡大にもつながりかねません。昨年の春ごろは活動の中止が相次ぎました。しかし、再開を望む声を受け、

弁当や食材などを駐車場に配る「ドライブスルー」や、屋外で弁当を食べる「青空こども食堂」などを開く動きが出てきました。少数でのバーベキュー作りや紙芝居の上演、オンラインで各家庭を結んだパフェ作りなども行われました。感染予防に気を付けながら、子どもたちがつながるためには何でもやる。そんなみなさん

の意欲が感じられます。  
 Q 運営資金はどのように確保しているの？  
 A 市民や企業からの寄付、行政の助成金などでまかなっています。こども食堂を支援する「信州こども食堂ネットワーク」は、寄付された食材を分け、運営方法の助言もしています。もしもに備えた保険にも入ってもらっています。

Q 今後の目標は？  
 A 長野県には約370の小学校があります。子どもたちが歩いて参加できるように、370の学区全てにこども食堂を作りたいです。  
 Q 子どもにもできることはあるのかな。  
 A 子どものスタッフが、会場作りや調理などを手伝うこども食堂もあります。活動を盛り上げようと紙芝居を作ろうとする人もいます。子どもが主役となり大人がサポートするのが理想です。みなさんぜひ、こども食堂に関わってみてください。

6月29日(金) 信濃毎日新聞



自販機の前でホットライン信州のスタッフの子どもから記念の花束を受け取る長野牛乳の従業員女性

**長野に子ども食堂支援自販機 売り上げの一部を寄付**

NPO法人ホットライン信州(松本市)とダイドードリンコ(長野市)が、長野市に初めて設置した。今後、全県に設置を目指す。最初の1台は長野牛乳の事務所前に設置した。

## 長野に子ども食堂支援自販機 売り上げの一部を寄付

ダイドードリンコが売り上げの1%、長野牛乳が販売手数料の1%を贈る。自販機にはかわいらしい男の子や女の子の絵が描かれている。長野牛乳は、牛乳を子ども食堂に寄付している縁で自販機を設置した。

ホットライン信州は、県内約100カ所の子ども食堂を支援する「信州こども食堂ネットワーク」(松本市)を運営。寄付金は食料の運送費用に充てるといふ。ダイドードリンコ長野オフィスの小松寛之さん(48)は「少しでも社会貢献につなげたい」と話した。

市民タイムス 令和3年(2021年)7月11日 日曜日

手分けして盛り付けや仕上げの作業をする協力者たち

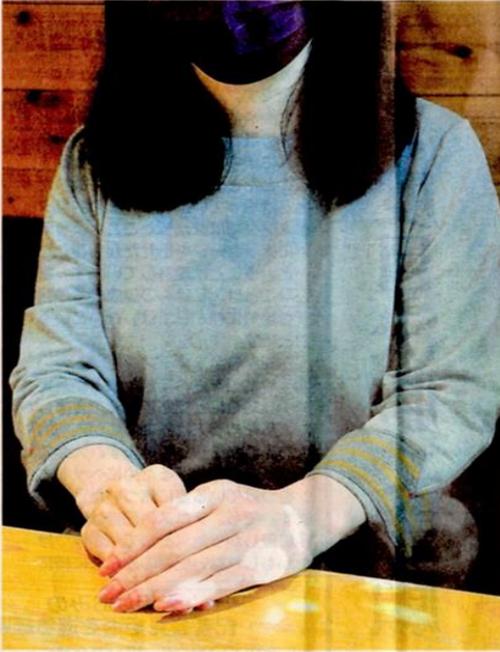


## 子供たちに手作り弁当 庄内地区 実行委が550食配布

松本市庄内地区の並柳1会地区子ども会育成会、NPOホットライン信州などをつくる実行委員会は10日、地区内の子供たちに、信州サーモンと山賊焼き入りの手作り弁当550食を贈った。把握した希望数に応じ、信州サーモンと山賊焼き入りの手作り弁当550食を贈った。把握した希望数に応じ、信州サーモンと山賊焼き入りの手作り弁当550食を贈った。

対策で気持ちが沈みがちな子供たちを元気づけようと、商工会がきつかけをつくり、地区公民館利用団体なども協力して地をぐるみで「地域のみとまりのよさ」を届けた。高松市の信州サーモン子供会に感謝し、子供たちには希望を持って困難を乗り越えていってほしいと話した。(白澤幸恵)

市の食討



# 母子家庭「苦境いつまで…」

## 感染流行直撃 夜に飲食店で働く女性

### 年収半分以下に転職先も見つからず

「昔を切り崩しました。中学一年の息子の高校や大学への進学のために取っておくべきだったのに…」

ミキさんは現在の店で、10年ほど前から「従業員契約を結ばないフリーランス」として働く。働き始めたのと同じ頃に離婚。中信地方の母89の助けも得ながら子どもを育ててきた。

店が新型コロナウイルスの感染防止のため休みにしても、休業手当は出なかった。月収は0〜10万円ほどになり、年収は半分以下に。生活費は貯蓄を取り崩したほか、フリーランスも対象にした持続化給付金を受給。収入減や失業により困窮した人の家賃を補助する住居確保給付金も活用したが、足りない。

家計が最も厳しかったのは、疾患が見つかり昨年6月に手術を受けた後、同4月から休業し

「暮すのが大変な状況で、収入が大幅に減り、苦境に陥っている母家庭がある。夜に営業し、酒を提供する飲食店で働くひとり親のミキさん(49)は、松本市は店が度重なる休業で収入が急減。雇用の仕事への転職を考えているが、うまくいかずに安くない日々を送る。一方、生活困窮者の厳しさが増中で、新たな支援の芽も生まれている。」

(伊吹 あすか)

### 県内支援機関に相談増加

新型コロナウイルスを受け、県内の支援機関への相談が増えている。県や市が県内24カ所に設置する生活支援センターや「まいまい」など。長野市が市社会福祉協議会に委託して運営する「まいまい(長野市)」への昨年度の相談件数は、延べ1万4千7百17件で前年度に比べて倍増した。

住居確保給付金の申請や、生活費を貸し付ける「総合支援基金」などに対応しており、収入や生活費に関する相談が最も多い。女性は約4割を占め、接待を伴う飲食店で働く

「動める飲食店は最近はお客さまが1日おきに1組のときも、今日は駄目」となると、早めに閉めてしまう」と話すミキさん(松本市)

### ひとり親 助け合いの動き 「こども食堂」や無料相談

松本市の松本駅前記念公園などで5月22日、NPO法人ホットライン信州(松本市)が「信州こども食堂」を開いた。コロナ禍でも、弁当を屋外で食べてもらうなどの対策を取りながら活動を続ける。ミキさんを含め約80人の親子らが参加し、弁当や野菜などの食料を受け取った。

この日食料を渡したビルの一室で、子ども食堂の運営に携わろうと同人に連絡した会社員原真由美さん(34)＝塩尻市＝が、青木正照専務理事(71)と面談した。原さんは2児を育てるひとり親。「周囲に助けてもらった分、ほかの人を助けたい」といい、将来、子ども食堂を立ち上げたいと考えた。

自身がコロナの濃厚接触者となった時、買い物に苦労した。「外に出られない人から、連絡

をもらって食料を届けられたらいい」と原さん。青木さんは「届けてくれる人がいたら助かる。輪を広げてほしい」と応じた。

人とのつながりが断たれがちで今、ひとり親の悩みを聞いて必要な支援につなげよう。県ひとり親家庭等福祉連合会(伊那市)は1日、オンライン相談会の受け付けを始めた。予約制で、同会子育て部長の上沼綾子さん(56)＝飯田市＝が中心となり、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」や電話で土日祝日や平日夜間に無料相談を行う。

上沼さん自身3児を育てたひとり親で、社会福祉士の資格を持ち「気軽な相談先になりたい」とする。予約は同連合会(☎080・4839・3633)へ。



「コロナ禍での支援について、原さん(右)と話し合う青木さん(奥)＝松本市

## 子どもはみんな大切だよ 新型コロナ下 絵本・飲み物贈る活動



松本のNPO

子どもたちに絵本を手渡す青木さん(右)

100カ所の子ども食堂とネットワークをつくり、全国から集まった食料や物資を分配している。現在は感染防止のため開催を見合わせたり、持ち帰り方式にしたりしている子ども食堂もあり、「自分が周りから認められていると感じてほしい」と物資の直接提供を考えたといい

県内各地の子ども食堂運営に携わるNPO法人ホットライン信州(松本市)が、保育園や小学校などに出向いて絵本や飲み物を贈る活動に力を入れている。新型コロナウイルスで通常通りに開けない子ども食堂があるため、同法人に寄せられた支援物資を直接届け、「多くの人に大切にされていると伝えたい」としている。

30日は専務理事の青木正照さん(71)らが松本市さくら保育園を訪れ、園児約180人と職員分の清涼飲料水やタオル、絵本などを贈った。日南田恵子園長は「地域から支えられ、大切にされてありがたい」と話した。ホットライン信州は、県内約



完成した紙芝居を手にする左から篠原修三さん、町田恵さん、篠原多緒さん。左の絵には妖精のサスティン、右の絵には野菜の苦手な小学生のしんちゃんを描かれている。1日、長野市芸術館

### NPO有志 紙芝居作り長野の高校生ら熱演

県内でも紙芝居を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)の有志が、紙芝居「広がる! 信州子ども食堂」を作った。子ども食堂の取り組の困りごとや、同法人などが1日、長野市開いたイベントで披露された。小学生のころから紙芝居を舞台に足を運ぶ長野市立高校1年生、篠原多緒さん(15)の3人が上演した。

「これは信州子ども食堂。赤ちゃんも子どもも、大学生のお兄さんお姉さんも、大人も、おじいちゃん、おばあちゃんも誰でも利用できる安心安全なまじゅのスペース」

紙芝居は、人なごしレシジョンで始まる。子ども食堂は地域のNPO法人などが公民館などで定期的に開き、子どもは無料、大人は数回といった安い値段で食事を提供している。企業や住民から野菜や食品、食材などの寄付を受けて運営している。

紙芝居の絵を描いたのは、篠原さんの母の修三さん。多緒さんと相談しながら、全体の流れやせりふをきき、完成させた。修三さんは、多緒さん(3人)の子どもを育ててくれた場所がほしかった。前年から、同法人が長野市で開く「信州子ども食堂」に通う。食事の提供を受けるだけでなく、自分たちも何かしたいと親子で運営を手伝った。

## 「子ども食堂」のこと知ってる?

県内でも紙芝居を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)の有志が、紙芝居「広がる! 信州子ども食堂」を作った。子ども食堂の取り組の困りごとや、同法人などが1日、長野市開いたイベントで披露された。小学生のころから紙芝居を舞台に足を運ぶ長野市立高校1年生、篠原多緒さん(15)の3人が上演した。

「サスティン」や野菜の苦手な小学生「しんちゃん」が登場。ボランティアが調理してみんなで食事を、子ども食堂の一日を描いている。

調理や食事だけでなく、お年寄りや外国出身の人との交流、子どもたちが困りごとや折り紙を教わる様子も描かれている。野菜嫌いの子どもが子ども食堂では好きなものを食べたり、子どもが片付けを自然に手伝ったりするエピソードも盛り込んだ。

1日は、修三さんがサスティン、多緒さんがしんちゃん、ナレーションは信州子ども食堂代表の町田恵さん(19)が担当。多緒さんは「こども食堂」では食べると、昔ながらの仲間が増えたと話している。

妖精のサスティンの名は、英語で「持続可能」を意味する「サスティナブル」から取った。多緒さんは「こども食堂やSDGsのことをもって同世代に伝えたい。中高生は部活などで忙しいけれど、一緒に運営する仲間が増えたい」と話している。

「こども食堂 県内ではNPO法人ホットライン信州が2016年1月、首都圏などの事例を参考に長野市で始め、全国に広がった。同法人は信州子ども食堂ネットワークを組織し、企業や地域住民からの寄付を受け、各地の子ども食堂に配る取り組みもしている。同法人がサポートする子ども食堂は県内で115カ所ある。

おわり、絵が得意なことから今、紙芝居を作るようになった。作品には、子ども食堂の妖精「サスティン」や野菜の苦手な小学生「しんちゃん」が登場。ボランティアが調理してみんなで食事を、子ども食堂の一日を描いている。

調理や食事だけでなく、お年寄りや外国出身の人との交流、子どもたちが困りごとや折り紙を教わる様子も描かれている。野菜嫌いの子どもが子ども食堂では好きなものを食べたり、子どもが片付けを自然に手伝ったりするエピソードも盛り込んだ。

1日は、修三さんがサスティン、多緒さんがしんちゃん、ナレーションは信州子ども食堂代表の町田恵さん(19)が担当。多緒さんは「こども食堂」では食べると、昔ながらの仲間が増えたと話している。



メインを紙芝居を演じる篠原多緒さん(左)と1日、長野市芸術館



生活困窮・介護・子育て…

### 悩み相談 上田に窓口

上田市長のまこと福祉会は、NPO法人ホットライン信州(松本市)と連携し、新型コロナウイルス下で生活に困っている人や介護、子育てに悩んでいる人向けの相談窓口を開設した。同市自由で運営する障害福祉サービス事業所「こどもハート」に専用の部屋を用意。県内では初。東信地方では初めての、介護福祉士や元教員などが対応する。福祉士は、生活する勇氣や希望を持ってもらうに支えたい。小室理事は「親

ではかねて来場者から相談があり、職員が対応してきた。小室邦夫理事によれば、コロナ下で食費や食料品を配った際に「これで数日間ばかりはいいけど」と声を聞かされた。同会の評議員で児童福祉などに長年取り組んでいた橋詰邦男さん(78)が中心となって対応する。福祉士は、生活する勇氣や希望を持ってもらうに支えたい。小室理事は「親

## コロナ禍における 子ども食堂と生活困難者支援 2021年10月27日(水) レザンホール中ホール

### 塩尻市民生児童委員協議会講演会



### 10月28日(木)NBS長野放送で放映

2021年10月27日(水)、塩尻市レザンホール、塩尻市民生児童委員協議会総会に約200名が参加して「コロナ禍における子ども食堂と生活困難者支援」と題して講演を行います。講師のNPOホットライン信州 青木正照専務が「コロナ禍で急速に広がった貧困・格差と無縁社会の底割れした社会をどう立て直すか…コロナ禍の今こそ政治の出番“公助”の必要性を訴えた!







松本市の「寄り添いこども食堂」が朝と夕で放映されました。

経済的に困っている家庭だけでなく、地域の人たちも利用できる松本市の「こども食堂」が29日開かれ、親子連れなどおよそ80人が訪れました。



松本市里山辺では地元のボランティアグループが毎月、「こども食堂」を開いていて、新型コロナウイルスの感染が拡大して以降は、テイクアウトを取り入れ食事を安く提供しています。



「こども食堂」では、経済的な理由を抱える家庭だけでなく、新型コロナの影響で人と接する機会が少なくなっている人たちにも食事を提供して、地域交流の場所にしようとして取り組んでいます。弁当を受け取った母親は「毎月来ています。食事もそうですが地域の人と交流できて助かっています」と話していました。



この食堂を運営する田口恵子さんは「コロナが落ち着いたら、みんなに食べに来てもらえる場所にしたいです」と話していました。



【こども食堂】新型コロナで人と接する機会減の人にも食事提供し地域交流の場に



地元のボランティアグループ 毎月「こども食堂」を開催 新型コロナ後はテイクアウトで食事安く提供

2021年1月20日 (木) 信濃毎日新聞



新変異株「オミクロン株」が出現し、新型コロナウイルス感染が広がらないほど急拡大する中、困窮する家庭などを支える県内のこども食堂の運営が難しくなっている。感染状況に合わせ、温かい食事の提供や物資配布を組み合わせてきたが、会場として利用してきた公共施設の利用停止が相次ぎ、学校や保育園などでのこどもの集団感染も発生。関係者は感染対策に気を配りつつ「つながり」を提供する場所と機会を探っている。

# 子ども食堂 つながりの危機

## 県内感染急拡大 会場利用難しく 行政の柔軟対応望む声も

NPO法人ホットライン信州(松本市)が15日に長野市ふれあい福祉センターで開いた子ども食堂。牛乳や菓子、パスタソース、生用品など生活必需品が配られたほか、調理場で焼いたヒジモも配布され、家族連れら約50人が受け取った。

「良かったね」。市内の派遣社員女性(37)は子ども3人と笑い合った。女性は夫と共働きだが、事務の仕事が減り、1年ほど前から食費を切り詰めてきたという。

同センターで月1回開く子ども食堂は、感染状況に応じて約2年前から館内の調理と食事の提供、弁当の配布を続けてきた。感染が落ち着いた昨年秋以降は館内で食事を提供してきたが、今年初回の15日は見送った。17日以降は市が調理場を当面使用中止とし、弁当配布も難しくなった。9日に県独自の感染警戒レベルが4(感染が顕著に拡大している状態)に引き上げられた飯田市。県地区で活動する子ども食堂かなえ(う)は約2年控えてきた食事の提供再開を目指していたが、レベル引き上げを受けて再開を見送った。運営する労協が飯田市の飯田事務所副所長(47)は「長野市は、三世代同居世帯や一人親世帯に多く接し、家計の困窮の実態を見つけた。行政に対し「子ども食堂は急を要する活動。感染対策を怠らなければ通常通り開けるよう柔軟に対応してほしい」と訴えている。

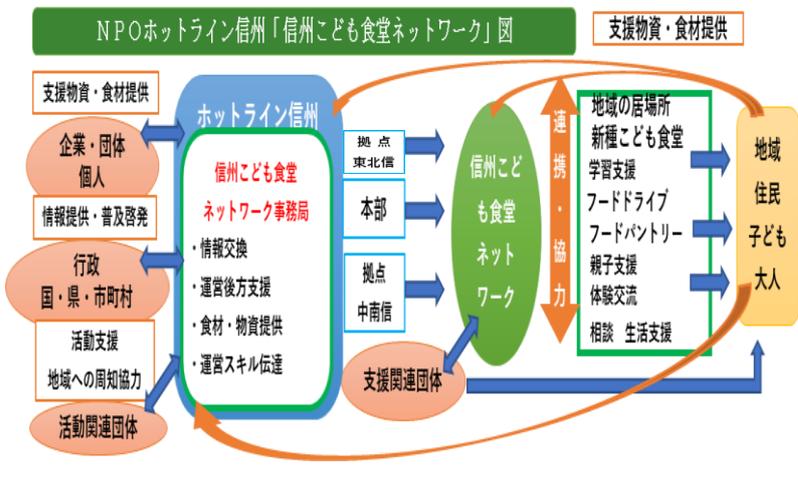
同法人スタッフで長野市ふれあい福祉センターでの子どもの運営に携わる佐田清(47)は「子ども食堂を運営する団体は約120ある。NPO法人ホットライン信州事務所で各地の子ども食堂と連絡を取る青木正照さん(70)の元には運営を巡る相談が相次いでいる。青木さんは「公園や広場の物資配布、各世帯への宅配なども考えられる。何とかつながりを絶やさない、困った時に頼れる状況を確認しておくことが重要だ」と話す。

## ルポ 新型コロナ 現場発

元の生徒らの手も借りてきたが、若年層の感染が自立的ようになった今、大々的に開くのは難しくなった。

# NPOホットライン信州「信州子ども食堂ネットワーク推進・関連団体一覧」

県・各市町村関係機関			助成金・補助金 団体		
内閣府・厚労省・農林水産省		県子ども若者局・環境部・農政部	内閣府子供未来応援基金		独立行政法人福祉医療機構
長野市子ども未来部・環境部		諏訪市 塩尻市立図書館	モバイルコミュニケーション		JT日本たばこ産業
塩尻市交流支援課・福祉課・教育委員会・子ども課・家庭支援課			キュービーみらいたまご財団		日本財団 中央 長野県共同募金会
松本市子ども部・環境部		安曇野市 東御市	ベネッセ子ども基金		長野暮らしサポートセンター
関係団体			信州子ども食堂ネットワーク 128カ所		
労協ながの・高齢協		長野県みらい基金	長野県みらい基金 三井物産環境基金 ソロピスミスト長野		(公財)東京コミュニティー財団 NHKわかば・NHK歳末赤い羽根
長野県暮らしサポートセンター		生活底上げ実現長野連絡会	(一社)全国食支援活動協力会		ファイザー JM基金
生活底上げ実現長野連絡会「県労協・労働3団体(連合長野等)・(労金・労済・生協等)・労協ながの・NPO団体・県反貧困ネットワーク」			(一財)中部圏地域創造ファンド		JANPIA ニッセイ財団
長野ボランティア 市民活動ネットワーク		長野県弁護士会	長野県元気づくり支援金		松本市子どもの居場所づくり
ながの若者サポートステーション		チャイルドラインながの	信州子ども食堂ネットワーク 128カ所		
長野県司法書士会 アイアース		県職員労働組合	中南信地域 (裏面地図参照) 東北信地域		
県内ソロプチミスト 翠翔会		NPO法人えんのわ	信州子ども食堂inココササ		信州子ども食堂in長野
学びサポート塩尻 (特非) わおん		長野市農業研修センター	" in安曇野		信州子ども食堂in篠ノ井
塩尻市配食ボランティアGP		信州アルプス大学	" inまつもと学び塾 どん八		わいわい食堂 だれでもかふえ〜
企業・団体			おとな子どももみんなおいで食堂		柳町カフェ まんぶく食堂
長野県遊技業協同組合 (株)クラダシ		ミスズコーポレーション	小さな子ども食堂まつもと		信州子ども食堂in若里
ジンコーポレーション(アポロ) (株)サンエイ		カーブス須坂 中野 飯山	信州子ども食堂in塩尻片丘		子ども誰でも食堂 こだなcafé
マルイ大町・KEIZ・ラッシュ松本		宝箱 スイーツ学会	信州子ども食堂in塩尻吉田		いただきます食堂 おでかけ子どもカフェ
中日本フード(株) おてらおやつクラブ		はぐしおアサヒ飲料株	子ども食堂しおじりinえんぱーく		三世代ごいっしょ食堂
ダイドードリンコ 長谷寺・長光寺・圓浄寺		柄木田製粉株式会社	学びサポートin信州子ども食堂		さんぼんやなぎプロジェクト
松本ユネスコ協会 圓成寺・玄向寺・安養寺・牛伏寺		デイリーフーズ株式会社	信州子ども食堂in飯田		松代にこにこ食堂
国際ソロプチミスト松本 ライオンズクラブ国際協会334-E		JANAがの いろは堂	夢かなえ ひとつぶの麦		とよの幸腹食堂 もんも子ども食堂
労金本店営業部青年委員会 キリングループ労組		JAGグリーン長野	ほんわか食堂季の味		またあいこ HAARTYDECO
労金松本支店青年委員会 (株)スドージャム 有)トザワ		JANA中野市	はぐくみ子ども食堂 つくしの会		篠ノ井ライオンズ食堂
丸善食品・アスザックフーズ 信州ビバレッジ労組		共和園芸 三井金属	つながる食堂 ほんわかばっば豊南		丘の上レストラン清泉
新光電気労組 炭平 丸紅(株) 住友商事		カゴメ(株) 長野牛乳	信州子ども食堂inすわ地蔵寺		寺子屋カフェ つくしの里子ども食堂
ナガノトマト(株) 二葉堂 長野銀行 すみれ会		(株)しなの麵工房	" with温泉寺		須坂市プラザ食堂
塩尻市芸能文化協会 晴耕舎 (株)デリシア		信濃毎日新聞 読売新聞	みんなでごはninえがお		すぎか子ども食堂 にじいろCafé上田
新聞諏訪地区販売店会 マルシェ川上 神田堂書店		マルコメ 峯村組	池田町実家の茶の間 あじさい		子ども食堂in千曲市
ダスカジャバクアウトテック 白馬サンプソンファーム 長野日石ガス 松本ガス		信州子ども食堂inくるみカフェ	白馬村子どもカフェ3 みあさの森		飯山子ども食堂 山ノ内みんなの食堂
ニッタイ株 ローソン (株)テンホーフーズ(株)明治		ベストカラー	信州子ども食堂inくまみカフェ		信州子ども食堂inこもろ
高相物産・タッパーウェア キッセイ薬品 日本アクセス 八十二銀行		アブリ野おなかキッチン	信州自然子ども食堂大鹿村		信州子ども食堂inみよた
子ども食堂関連団体			アップルツリー おとな子ども食堂		中野市 なかの子ども食堂
全国フードバンク推進協議会		全国子ども食堂ネットワーク	ひまわり食堂 ハッピーハウス		" にじいろ子どもカフェ
NPO法人豊島子どもwakwakネットワーク		信州大学 松本大学 長野大学	みんなのおうちスマイル		" キラキラカフェ高丘
フードバンク山梨 日本百貨店協会		新潟大学 立命館大学 京都大学	子ども食堂しおじりひなたぼっこ		野沢温泉 なかよし食堂
清泉女学院 大原学園 フードバンク愛知		塩尻市コミュニティスクール	子ども食堂しおじり夕日食堂		長野市 ふれあい教室
バルシステム連合会 二鶴堂 順正学園・モランボン 薬糧開発 キュービー		信州子ども食堂学研吉田教室	信州子ども食堂学研吉田教室		Gプロジェクト子ども食堂
中部圏地域創造ファンド		信州豊南短期大学 長野短大 長野青学学園	とこおばあちゃん信州子ども食堂		木島平子どもカフェ ベンチ食堂
個人 約2,800名以上多数		全国食支援活動協力会	信州子ども食堂inふらっと木曾		坂城町子ども食堂 カフェ宙
			はらぺこあおむし子ども食堂		だれでも食堂 東御市
			玄向寺子ども食堂 まじめ家食堂		のぞみ福祉会子ども食堂
			子供の未来をかんがえる会		古里子どもカフェ だれでも食堂
			ひなたぼっこ100円食堂 託児付親子食堂 親子息抜きご飯		
			寄り添い子ども食堂 きずな食堂		子どもレストランきらっと
			ゆいまーる子ども食堂 きずな便		色と香り子ども食堂
			おかまのおうち 学び舎楽人		信州子ども食堂たてはや
			ゆる笑happy子ども食堂 ヨリバ		信州子ども食堂みちくさ
			信州子ども食堂inこまがねSta		子ども食堂まんま
			子どもカフェだらっと		若宮きずな塾 SOS上伊那
			子ども食堂アムール		無料子どもじゅくHATA
			子どもカフェむぎむぎ		あづみのcocoroカフェ
			子どもアトリエもも		子ども食堂「ねやねや」
			グリュック子どもカフェ		あがり子どもカフェ
			子どもカフェHug		グンジャビハーリー食堂 NPO法人えんまる



# 信州子ども食堂の広がり!!

～県内128ヶ所 約120,000名参加～



信州子ども食堂ネットワーク

なんでも相談 0120-914-994